

岩手県薬剤師会誌

イハト〜ブ

第64号
2017

巻頭言・寄稿・会務報告・受賞おめでとうございます・
理事会報告・委員会の動き・病院・診療所勤務薬剤師部会から・
地域薬剤師会の動き・薬連だより・最近の話題・
質問に答えて・岩手医科大学薬学部講座紹介・
話題のひろば・リレーエッセイ・職場紹介・会員の動き・
保険薬局の動き・求人情報・図書紹介



編集・発行／一般社団法人岩手県薬剤師会 平成29年11月30日



岩手県医薬品卸業協会

株式会社小田島

〒025-0008 岩手県花巻市空港南2-18

☎0198(26)4211

株式会社恒和薬品岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南4-10-2

☎019(639)0755

株式会社スズケン岩手

〒020-0125 岩手県盛岡市上堂4-5-1

☎019(641)3311

東邦薬品株式会社岩手営業部

〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ2-7-15

☎019(646)7130

株式会社バイタルネット岩手営業部

〒020-0891 岩手県紫波郡矢巾町流通センター南3-1-12

☎019(638)8891

株式会社メディセオ北海道・東北支社岩手営業部

〒025-0312 岩手県花巻市二枚橋第5地割6-26

☎0198(26)0552



愛媛国体で改めて感じた「スポーツの力」

(一社)岩手県薬剤師会

常務理事 本田 昭二

時間が経つのは早いもので、いわて国体が終わってから1年が経ち、今年の国体は愛媛県で開催されました。私事ですが、四国初上陸でしたので少し気持ち揚げ気味で臨みました。今年も岩手県の選手たちの頑張りで、全国14位と当初目標の10位台を達成しました。他県では国体終了後は軒並み成績が大きく落ちるところが多い中、選手たちは素晴らしい結果を残してくれました。

一方で、去年の国体初のドーピング陽性を受けて、ドーピングに対して今まで以上に意識した大会になっていたように感じます。2003年静岡国体から、国体開催県の薬剤師会が、「ドーピングゼロ」をスローガンに支援を行ってきたわけですが、幸か不幸か我々が想いを込めて活動してきた、いわて国体で初のドーピング陽性事例が出てしまいました。陽性事例が岩手県の選手でなかったことは唯一の救いでありましたが、国体開会式の前日に開催されたドクターズミーティングでも、「いわて国体での初のドーピング陽性」という言葉を何度も繰り返し聞くと、決して良い気分ではありませんでした。

ドクターズミーティング後に行われた、愛媛県薬剤師会主催の会合でも、次期開催県の福井県薬、その翌年開催の茨城県薬、その他の県薬のアンチ・ドーピング担当者が口々に、「岩手県でドーピング陽性が出てもらって、プレッシャーから救われた。」と声をかけられましたが、不思議と不愉快になることはなく素直に受け入れることができました。その理由は、いわて国体において、岩手県薬剤師会は会員一丸となって、やるべきことは十分にやってきたという自負があったからです。そして、ドーピング陽性事例が出たことで、「我々の活動の第2ステージがこれから始まる！」という感じているからだと思います。

薬剤師のアンチ・ドーピング活動の基本は、選手のことを第一に考えることであり、ドーピングゼロは、その結果でしかありません。今後も、基本を忘れずに活動していきたいと思っています。

さて、現場で選手たちと接していると、選手と色々な話をするわけですが、その中に、素敵なエピソードもあつたりします。

愛媛国体で、岩手県ホッケー選手のケアのために、高橋一男トレーナー（岩手県文化スポーツ部スポーツ振興課上席スポーツ医・科学専門員）と選手宿舎を訪れた時、普段は小学生にホッケーの指導をしているという一人の選手から、去年のいわて国体の時のエピソードをうかがいました。いわて国体では、ホッケー競技は、ホッケーの盛んな岩手町で開催されました。地元開催とあって、多くの小中学生が応援に駆けつけました。その中に選手本人が受け持つ中学校の教え子たちもたくさん応援に来ていました。全校応援とのことで、生徒の中には、日頃学校に登校しない、いわゆる不登校の児童も試合を観戦に来ていたそうです。試合は、大熱戦の末、岩手県チームが勝利し、児童たちも身近な選手の活躍に興奮し、大満足だったようです。児童たちは、「次の試合も絶対に応援するぞ」と思っていたようですが、地元開催の場合、現地の児童・生徒は、国体を盛り上げるために、他県の応援にも駆り出されます。岩手町でも、「この試合は、〇〇中学校」というように予めスケジュールが決められており、必ずしも岩手県選手の試合を観戦できるというわけでないのです。

スケジュールを確認した結果、自分たちは、次の岩手チームの試合に行けないことを知った児童たちは、「次の岩手チームの試合を応援に行きたい」と職員室に行き、先生に泣きながら直談判をしたそうです。生徒の中には、先述の不登校の児童も参加していました。残念ながら、生徒たちの決死の行動は実らなかったそうですが、今まで不登校であった生徒はそれ以来学校に来るようになった、という話を聞いて、「スポーツの力」を改めて感じ、鳥肌が立つくらい感動しました。

人間は、「スポーツの力」によって、突き動かされる生き物なのかもしれません。心を揺り動かされることによって、改めて自分の行動を顧みる。そこに、「人を育てる」原点があるのではないのでしょうか。

あまりかっこいい話にまとめると、出来の悪い後輩達が必ずダメ出しをしてくるのでこれで終わりたいと思います。この続きは、また…。

★★★ もくじ ★★★

巻頭言	1	最近の話題	31
寄稿	3	質問に答えて	33
第68回東北薬剤師会連合大会に参加して	7	岩手医科大学薬学部講座紹介	35
平成29年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会	8	話題のひろば	36
公開講座「健康はかっこいい!!」を開催	18	リレーエッセイ	38
会務報告	19	職場紹介	39
受賞おめでとうございます	20	会員の動き	41
理事会報告	22	保険薬局の動き	43
委員会の動き	23	求人情報	44
病院・診療所勤務薬剤師部会から	25	図書紹介	45
地域薬剤師会の動き	26	編集後記	46
薬連だより	28		

平成30年岩手県薬学・薬事関係者懇話会新年会の開催について

恒例の薬学・薬事関係者懇話会主催の新年会を下記のとおり開催いたします。

平成30年を迎えるにあたり、薬業に携わる各界の皆様の情報交換の場になればと考えております。
会員の皆様には、お誘い併せのうえ多数ご参加ください。

- [日 時]** : 平成30年1月20日(土) 午後5時から
[場 所] : 盛岡グランドホテル
[会 費] : 5,000円

☆参加申込は、各地域薬剤師会長に取りまとめをお願いしておりますので、所属薬剤師会へお申し出ください。

☆県薬事務局へ直接ファックスあるいはメールで申し込んでいただいても結構です。

あなたの笑顔は？

数週間前に岩手県薬剤師会機関誌「イーハトーブ」に寄稿してみないかとのお誘いをいただいた。題名はお任せ！なんと大胆な。岩手県薬の皆さま、編集委員の皆さまの度量の大きさが伺われる。

まず、あなたは誰？との質問が来そうなので自己紹介をさせていただこう。私は平成18年から、山形県薬剤師会の理事（生涯学習・リスクマネジメント担当）と日薬DI委員会（現在のDI・医療安全・DEM委員会）に参加させていただいている。その前にも女子薬の役員をしたり、相互作用研究会にも参加させていただいたりしていたので、岩手県内にもこれを読んで懐かしく思っていたりの方も多いかと思う。私を知っている方は、古くは「相互作用研究会でいつも発言をしていた人」、新しくは「東北連合大会でよく手を挙げる人」の印象であろうか。社会的な地位を気にしないで、誰にでも気軽に話しかける。日本酒好きも有名で、私の体型から酒は身体に横に溜まる？と思っている方も多いかもしい。

大切に思うのは、付度。付度は仕事の基本だと思う。病気の方と付き合う薬剤師にとっては標準装備したいところである。

付度（そんたく）とは？

=他人の心をおしはかること相手に配慮する事。
→仕事は次の人がやりやすいよう、おしはかつて行う。

→薬剤師は患者の心をおしはかつて話す。

安倍首相で有名になった付度が「目上の人意向を推しはかる」という意味で使われたのは非常に残念である。そのような付度は御免こうむりたい。私は大学を卒業してすぐに県立病院に勤め、20代から薬剤師会で保険薬局の仲間と付き合ってきた。病院を卒業してからは、地元の薬局に勤務している。その経験から今思うところを書いてみたいと思う。

* 薬・薬連携

病院の薬剤師は保険調剤を行ったことがない。病院の保険査定に関する情報はあるものの保険調

山形県薬剤師会 常務理事 武田直子

剤は行っていない。私も保険調剤に関する知識は少なく「アムロジン錠の1日2回の疑義照会」をなぜ？と思っていた。病院薬剤師の一部に「保険薬局薬剤師は病気を知らずに変な問い合わせをしてくる知識のない人」と勘違いし、高飛車な態度を取ってくる場合があるのはこのためである。また、病院では医師から話を聞く機会も多く、病気について色々知識を得ることが出来る。時折、この病気に関する知識が自分は病気について知っている勘違いさせてしまう場合がある。これは“門前の小僧”現象で、このお陰で勉強する意欲が高まり更に専門家としての役割を意識して勉強したり、逆にその状態に甘んじて勉強する必要性を感じなくなったりする。

一方、病院の薬剤師は研修医に指導する機会があるため、病院内で薬剤師が力を持っている病院の医師は、問い合わせなどで保険薬剤師の話をよく聞いてくれる。また、医薬品情報提供・病棟業務など薬剤師業務のエビデンスを作り、薬剤師評価を上げてきたのは病院薬剤師である。

昨今病院の役割としても地域連携が取り上げられ、病院の職員は地域の介護の方々や連携する機会が増えた。残念ながらこの点で、薬剤師はまだ蚊帳の外である。保険薬剤師と病院薬剤師が互いの仕事を知らない現状では、薬剤師同士でも連携は組めない。両方の職場での実習経験のある6年制卒の薬剤師も増えてきており、互いの現状を知り問題点を共有する仕組み作りが地域で求められる。これは薬剤師だけの連携にとどまらず、互いに持っている連携先との大きな連携にも発展して行く。

* KPI (Key Performance Indicator) 重要業績評価指標

KPIとは、目標の達成度合いを計るために継続的に計測・監視される定量的な指標のこと。組織や個人が日々活動、業務を進めていくにあたり、「何を持って進捗とするのか」を定義するために用いられる尺度であり、現在の状況を表す様々な

数値などの中から、進捗を表現するのに最も適していると思われるものが選択される。

我々薬剤師にとって突然出てきた感のある KPI であるが、組織ではつねにこのような客観的な評価指標を求められる。昨年から特に医薬分業への風当たりが強くなってきたようであるが、これには政策的な戦略が関係していそうである。どのような経過であれ、薬剤師に売られた喧嘩である。勝たなければ意味がない。さて、私たちは何をしようか。具体的な行動としては下記の項目が考えられる。あなたは私は、全てクリアしているであろうか？

- ・ 薬剤師は、医師との服薬情報提供書を通しての情報共有を行う。
- ・ 薬剤師は、在宅へ行く。
- ・ 薬剤師は、研修会への参加・地域ケア会議への参加。
- ・ 薬剤師は、ヒヤリ・ハット収集事業に参加して報告
- ・ 薬剤師は、処方監査を行いプレアポイド報告。
- ・ 薬剤師は、厚労省へ副作用報告をする。
- ・ 薬局経営者は、薬局の電子化に舵を切る。
- ・ 薬局経営者は、退院時カンファレンスや在宅に行く薬剤師体制を構築する。
- ・ 薬局経営者は、かかりつけ薬剤師になれるよう薬剤師の配置を検討する。

「患者のための薬局ビジョン」に基づき設定する医薬分業の質を評価できる指標（KPI）2017

- ① 地域ごとの地域包括ケアシステムに関する内容を含む研修（健康サポート薬局研修）を修了した薬剤師の人数
- ② 患者情報の一元化・継続的把握のための電子薬歴を導入している薬局数
- ③ 電子お薬手帳などの ICT に対応している薬局数
- ④ 医師へ患者の服薬情報提供等を文書で提供した薬局数（過去1年間に月1回以上）
- ⑤ 在宅業務を実施した薬局数（過去1年に平均月1回以上）
- ⑥ 健康サポート薬局研修を修了した薬剤師が地域ケア会議等の地域の多職種と連携する会議に出席している薬局数（過去1年間に1回以上）

<薬局機能情報提供制度 2017 追加項目>

- ・ 上記 KPI の 4 項目
- ・ 地域におけるプレアポイドの取り組み（医療連携）
- ・ 地域医療情報連携ネットワークへの参加の有無
- ・ 退院時カンファレンスへの参加体制の有無
- ・ 医師への受診勧奨に関する情報等の提供体制の有無
- ・ 副作用報告の実績
- ・ ヒヤリ・ハット事例収集の取組の有無

（参考）経済・財政再生アクション・プログラム 2016（主要分野の KPI）

- ① かかりつけ薬剤師を配置している薬局数
- ② かかりつけ薬剤師指導料（包括管理料）算定件数
- ③ 重複投与・相互作用防止に係る調剤報酬の算定件数
- ④ 1人の患者が同一期間に3つ以上の医療機関から同じ成分の処方を受けている件数
- ⑤ 在宅医療の算定件数
- ⑥ 後発医薬品の数量シェア

薬剤師はいよいよ薬局外（病院・地域・患者宅）へ出かけなければならない。

他職種との関係の中では、薬の専門家としての知識が問われる。

*学ぶ

ある週刊誌の別冊で、薬局に関する特集記事が組まれたことがあった。書いてある題名は薬局に対し否定的なものだったが、その中身は薬剤師にとっても納得のいくような記載が多かった点は面白い。

<患者にとって有益な薬局・薬剤師の選び方とは？>

薬剤師は勉強熱心な人を選んだほうがいいですね。薬がどんどん増えているのですから、副作用などの勉強をして知識を増やさないと現状に追いつけない。なにしろ薬剤師は薬の“専門家”なのです。by 薬剤師

病院では薬剤師が病棟に行けば医師は隣の端末にいるし、看護師は共にベッドサイドにいる。そこに専門薬剤師制度が出来た。専門薬剤師を取れば、今まで何を言っても聞いてくれなかった医師

も質問をしてくれるだけでなく、治療の相談もしてくれる。専門を取れば、外からの評価が付いてくるし、見合っただけの努力も求められ続ける。

一方薬局薬剤師は、話の聞き取りをし OTC の選択をするべく勉強してきたが、突然医療用医薬品がやってきた。調剤は、OTC と違い自分の判断で使用は出来ず、医師が書いた処方箋通り薬品を取りそろえるという慣れない業務であった。まずは間違えず揃えることが課題となった。医療安全手順書を作り、インシデントに悩みながら「処方通り」を目標に努力した。

そして今薬局に求められているのは、処方を監査すること。その患者の症状にあっているのか、副作用は出ていないのか。そしてさらに求められているのは、患者にあった処方を提案する薬学的な力＝専門力である。その基礎は医薬品情報である。

* 薬局プレアボイド

プレアボイドとは？＝薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益(副作用、相互作用、治療不十分など)を回避あるいは軽減した事例

日本病院薬剤師会が始めた事例で、年間数千件を収集・報告している。

薬局プレアボイドとは？＝薬剤師が患者基本情報*を適確に収集し、適正な処方チェック・薬学的患者ケアを実践して有害反応・治療効果不十分、精神的不安、経済的損失等を回避或いは軽減した事例

薬局プレアボイドは、病院のように治療関連のみでなくその関わり方から精神的・経済的な視点でも貢献できるため薬局独自の事例が出来てくる。

<カナダの大学での処方監査の考え方「NESA」>

処方の問題の種類 7種＝NESA：

Necessary (必要性)：①必要な薬物療法 ②他の薬物療法が必要である

Effectiveness (有効性)：③効果不十分 ④用量が少なすぎる

Safety (安全性)：⑤用量が多すぎる ⑥副作用

Adherence (アドヒアランス)：⑦アドヒアランス不良

・薬局の薬剤師はその専門性を求められ結果も求められている。一体、何から勉強すればそれを

出来るのか？

薬剤師は一生勉強である。専門職となったからには、勉強は宿命である。さて、勉強しようとした場合にその材料は何？その材料は目の前にある。あなたは、日々の患者からの質問にどのように答えているのか？えっ？と思いながらもそのまま調べず聞き流していないか？それを調べきちんと答えたいと思うところから勉強は始まる。その疑問はなぜか？何を調べればいいのか。地道に一つずつ、自分の手で調べてこそ身につく。調べて発表する事。学会発表・地域の住民への講演もいい。知識は誰かに説明することで確定する。

* 薬学的症例・DI 検討会

日本薬剤師会 DI 委員会では、平成 24.25 には県薬情報センターが薬局のヒヤリ・ハット事例を収集・解析し「モバイル(動く)DI 室」事業とし、平成 26.27 年には薬局プレアボイド事例を持ち寄り「薬学的 症例・DI 検討会」を県薬で試行的に実施してきた。これらをまとめ、関連情報を元に情報の体系的な整理及び詳細解析を行ったものが、「事例に基づく DI 教材」(case-based DI learning materials：CASE-DI)としてまとめられている。この収集したデータは、「事例に基づく DI 教材(CASE-DI)」アーカイブ <http://nichiyaku.info/member/siryoku/n20160624.html>として日薬会員ホームページで見ることが出来る。

山形県薬剤師会では、薬学的症例・DI 事例収集として引き続きこの事業を行い、薬局プレアボイドの収集・解析を通し薬剤師個人の情報収集能力の向上に努めている。このような事例は、まとめた薬剤師個人の資質向上のみでなく、その詳細解析を研修事例として活用し、日常業務での研究テーマの発見にもつながっていく。

薬学的症例・DI



*カウンターを乗り越えて

薬局で薬剤師は、いつも白衣を着てカウンターの中に立っている。カウンターも白衣もあなたを薬剤師として守ってくれるアイテムである。でも、ここで安心してはられない。

白衣を脱いで、カウンターの向こうで患者さんと話しをしよう。地域での住民講座などはいい機会となる。



薬局窓口でのやりとり。

薬剤師 「今日はどうですか？」

患者さん 「うん、調子いいよ。」

薬剤師 「そうですか」

その時、患者さんの答えを聞いた薬剤師の頭の中では、次の行動（＝薬歴に症状改善と書こう）を考えている。

私たちは、薬を通して病気を治療する医療者である。

あなたは、患者さんの隣に立って共に治療に向け、歩んでいますか？

あなたの質問への患者さんの答えに耳を傾け聞いて（聴いて）いますか？

患者の声に耳を傾け、患者の状態が良くなれば共に喜びましょう。

「そうですか」

→ 「それは、良かったですね。」

「よく頑張りましたね。」

ゴールがある治療に「治療卒業証書」なんていかがでしょう？

このような対応の変化は、薬剤師への信頼感を増していきます。

あなたの毎日の笑顔に、人は自然に集まってきます。

治療卒業証書

様

おめでとうございます！

長い期間、治療の為に薬の使用
を続けてきました。

よくがんばりました！

平成 年 月 日



〇〇薬局

*笑顔

薬剤師人生、まもなく40年になろうとしている。常に家におらず動き回っている母に子供たちは聞いてきた。「人より仕事をして休みも学会に行って長い間動いているけど、ママには一体何が残ったの？」社会的な地位がある訳でもない。賞をもらった訳でもない。私の周りに残ったのは人である。私は関わっていただいた人に、多くのことを教えていただいた。共にこれからの薬剤師の在り方を議論した人、共に酒をくみかわし楽しい時間を過ごした人、私と関わったすべての人に感謝したい。

最後に、寄稿する機会をいただいた宮手先生はじめ岩手県薬の皆さまに感謝いたします。

本当にありがとうございました。

『意思があれば道は開ける』 by アインシュタイン
メモ in 帝国ホテル

共に前に進みましょう。一歩ずつ。

「第68回東北薬剤師会連合大会」に参加して

ポプラ薬局 野館 敬直

9/9（土）、10（日）の2日間にわたり、第68回東北薬剤師会連合大会が開催されました。

本大会は、本来6県で持ち回り開催されていますが、本県は6年前の2011年は東日本大震災の影響で2015年の秋田県と開催を交換してもらった経緯があり、2年ぶりの開催となりました。

開催前日の9/8（金）の22時過ぎには、秋田県内陸南部を震源とした地震（マグニチュード5.2、最大震度5強）が発生しましたが、大会当日は大きな混乱もなく無事に開会を迎えました。

本大会では、テーマを【真のかけつけ薬剤師となるために】と題して、特別講演やシンポジウムにて貴重な講演や濃厚な議論が交わされましたのでその内容について報告します。

◆大会1日目 9/9（土）◆

はじめに、岩手医科大学医学部救急・災害・総合医学講座 災害医学分野 教授の眞瀬智彦先生により「災害時の医療活動 薬剤師の役割とは？～東日本大震災、熊本地震、岩手・北海道豪雨災害時の活動を通して」という演題で特別講演を行っていただきました。近年発生した災害のそれぞれの特徴や、各医療従事者の役割、情報や物資や人がどう動いたのか…などを詳細に説明していただき、それらを踏まえて今後薬剤師にはどのような活動が望まれるかといった展望をお話いただきました。東日本大震災では様々なところに医療対策本部が設営されたがそれらの連絡系統などが上手く機能しなかったことなどを踏まえ、その対策として本県でも災害医療コーディネーター制度を導入し、これにより昨年の豪雨災害の際には機能的に活動できたそうです。また、講演終了後には非常に活発な質疑が行われました。

それに引き続き、大会式典が開催されました。式典では畑澤博巳大会長の挨拶に続き、各来賓の祝辞、薬事衛生功労者の表彰が執り行われました。

※本県の受賞者

金澤 貴子 氏（二戸市：堀野調剤薬局）

篠崎 俊行 氏（盛岡市：緑が丘薬局）

式典後に開催された懇親会では、一昨年に引き続き、大好評の「六県対抗わんこそば大会」が実施されました。2分間で何杯食べられるかというルールで実施されました。本県の先方は、かえで薬局（盛岡市）の河野潤選手（あえて「選手」と

呼ばせていただきます）が出演し、接戦を制し見事幸先よく優勝しました。次鋒戦では、たんぼぼ薬局（花巻市）の工藤博臣選手が参加したものの、直前に料理を食べ過ぎてしまったため、2分間で25杯しか食べられずあえなく敗退してしまいました。最後に特別戦として時間無制限勝負で実施され、2年前にも圧倒的な強さを見せつけた岩手の総大将・さんぺい薬局（盛岡市）の川崎卓選手が参戦しました。他県の選手が続々とギブアップする中、川崎選手は黙々と食べ続け87杯を記録しました。川崎選手は実数では圧倒的な勝利でしたが、大人の対応により他県の女性選手にハンデキャップを付けて優勝を譲り、大盛況にてわんこそば大会が幕を閉じました。

◆大会2日目 9/10（日）◆

大会2日目は、『「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた各地域の取組み～真のかけつけ薬剤師となるために～』というタイトルのもと、各県の事例報告が行われました。当県からは中田義仁常務理事が、釜石・気仙・奥州で実施された「患者のための薬局ビジョン推進事業」について発表されました。他県からは、「多職種・行政との連携事例」、「おためし訪問の実施」等、非常に興味深い発表が行われ、そのたびに多くの質疑も飛び出し活発な意見交換が行われました。あっという間に定刻を迎え、二日間の日程に幕を閉じました。



（受賞されたお二人と畑澤会長）

以上のように、とても充実した二日間となりました。今回学んだことを日々の業務に少しでも活かしていけたらと思います。



平成 29 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会報告

岩手県薬剤師会学校薬剤師部会

部会長 宮手 義和

平成 29 年 10 月 12 日（木）、13 日（金）の 2 日間にわたり標記の研究協議会が盛岡で開催されました。平日開催ではありましたが、全国から多くの学校薬剤師、養護教諭、保健主事等 400 名強が盛岡につどい熱心な研修討議が行われました。

前回の岐阜大会までは分科会が同時並行の形で開催されたことから、受講する分科会と聞きたい分科会が同じ時間で残念な思いをされた参加者が多かったことから、今年度からは全分科会を聴講できるようにぶっ通しでの分科会開催となりました。

本研究協議会の開催の趣旨

学校保健関係者の連携による組織的で充実した学校環境衛生活動、薬事衛生活動等の保健管理、及び薬物乱用防止教育、医薬品教育等の保健教育を一層推進するため、学校における保健管理及び保健教育について研究協議を行い、本協議会の成果を全国各地に展開し充実を図る。

主催ならびに後援団体

文部科学省、岩手県教育委員会、盛岡市教育委員会、公益財団法人日本学校保健会、公益社団法人日本薬剤師会、一般社団法人岩手県薬剤師会、盛岡薬剤師会、岩手県学校保健会、盛岡市学校保健会

開催期日

平成 29 年 10 月 12 日（木）・13 日（金）

大会会場

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4 階 メトロポリタンホール

岩手県盛岡市盛岡駅前北通 2 番 27 号 TEL 019-625-1211

参加対象者

- (1) 国公立の幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教職員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師等
- (2) 都道府県、指定都市及び市町村教育委員会の学校保健担当者等

大会日程

1 日 目	9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	15:00	15:15	17:15
	受付	開会式	特別講演	昼食	【第 1 課題】 学校環境衛生活動	休憩	【第 2 課題】 学校保健委員会	
2 日 目	8:30	9:00	10:00	10:15	12:15	13:15	15:15	
	受付	講義	休 憩	【第 3 課題】 喫煙、飲酒、薬物 乱用防止教育	昼食	【第 4 課題】 医薬品に関する教育		

講演・講義

- (1) 特別講演 「大規模災害時の避難施設における感染症対策について」
講師 岩手医科大学附属病院 感染症対策室 室長 櫻井 滋 先生
- (2) 講義 「学校環境衛生活動における学校薬剤師との連携について」
講師 文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課
健康教育調査官 小出 彰宏 先生

研究協議

- (1) 【第1課題】学校環境衛生活動
「学校環境衛生基準」に基づく学校環境衛生活動の進め方や当面する諸問題への対応
- 【第2課題】学校保健委員会
学校保健委員会の活性化や当面する諸問題への対応
- 【第3課題】喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育
喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育の進め方や当面する諸問題への対応
- 【第4課題】医薬品に関する教育
医薬品の適正使用に関する教育の進め方や当面する諸問題への対応
- (2) 方法
各課題ともに発表者が主題に基づく発表を行い、これをもとに研究協議を行う。
- (3) 発表者・指導助言者

	課題テーマ	発表者	指導助言者
第1課題	学校環境衛生活動	山形県酒田地区薬剤師会 佐藤 義朗	日本薬剤師会学校薬剤師部会 幹事 木全 勝彦
		京都市立高野中学校 教諭 松比良 菜々	岐阜県教育委員会体育健康課 技術主任 葛西 徹信
第2課題	学校保健委員会	岩手県・盛岡薬剤師会 大坪 尚子	日本薬剤師会学校薬剤師部会 幹事 豊見 雅文
		二戸市立浄法寺中学校 養護教諭 小山田 ヨシ子	千葉市立新宿小学校 養護教諭 岸平 直子
第3課題	喫煙、飲酒、薬物乱用防止教育	青森県学校薬剤師会 小池 智彦	名古屋市学校薬剤師会 会長 山口 一丸
		岩手県立紫波総合高等学校 指導養護教諭 中下 玲子	青森県平内町立小湊小学校 教頭 越田 強
第4課題	医薬品に関する教育	岩手県・釜石薬剤師会 中田 義仁	大阪市学校薬剤師会 会長 稲田 裕彦
		東洋英和女学院大学体育研究室体育科 ティーチングアシスタント 宮崎 恵美	大阪市教育委員会 指導主事 西木 澄江

以上のような開催要項で開催されましたので、県内学校薬剤師の発表要旨と宮手部会長ならびに佐々木宣好副部会長の参加報告を掲載いたします。

開会式

開会式では畑澤博巳岩手県薬剤師会会長が本研究評議会岩手県実行委員長として参加者の歓迎挨拶を行いました(写真1)。続いて、主催者挨拶として文部科学大臣挨拶が文部科学省健康教育・食育課長の三谷卓也氏により代読(写真2)、日本学校保健会会長挨拶が小山田雍副会長から、日本薬剤師会挨拶は山本信夫会長(写真3)からありました。



写真1 開会式の畑澤会長挨拶



写真2 三谷卓也氏による
文部科学大臣挨拶



写真3 山本日薬会長挨拶

その後、特別講演として岩手医科大学附属病院感染症対策室の櫻井 滋先生（医学部教授）により「大規模災害と避難所としての学校における感染症対策」－その時、どう行動すべきか－の講演が行われました。（写真4）



写真4 特別講演の櫻井先生



写真5 講義中の小出彰宏先生

特別講演の後の第一日目は上記表に示した様に第1課題：学校環境衛生活動、第2課題：学校保健委員会が、二日目は講義として文部科学省健康教育調査官、小出彰宏先生から「学校環境衛生活動における学校薬剤師との連携について」のお話（写真5）を伺い、その後、第3課題：喫煙、飲酒、薬物乱用教育、第4課題：医薬品に関する教育が協議されました。分科会での本県からの発表者は第2課題：学校保健委員会へ盛岡薬剤師会大坪尚子先生（写真6）、第4課題：医薬品に関する教育へ釜石薬剤師会中田義仁先生（写真7）が発表されました。



写真6 発表中の大坪尚子先生



写真7 発表中の中田義仁先生

協議会終了後の文科省からの講評ではスムーズな運営ができていたこと、参加者の熱心な聴講に好感が持てたこと、会場の選択が非常に良かったことなどが述べられました。

来年は滋賀県が当番県となります。平日開催ですが充実した分科会が開催されますので是非参加をとの滋賀県薬からのお願いがありました。

平成 29 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会参加報告

岩手県薬剤師会学校薬剤師部会

副部会長 佐々木 宣好

平成 29 年 10 月 12 日～10 月 13 日の 2 日間にかけて平成 29 年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（会場ホテルメトロポリタン盛岡 NEWWING）へ出席してきました。

まず特別講演として、「大規模災害と避難所としての学校における感染症対策」と題して岩手医大附属病院 感染症対策室室長 櫻井 滋 先生がご講演されました。避難所として面積の広い学校が指定されることが多く、その中での感染対策として、災害弱者は感染弱者となるので誰もが予防接種を受けることが重要であること、救護所や医師の存在は感染症に対する絶対的な安全を保障するものではないので、各々が感染経路の意識を高め感染を遮断するために、それぞれの感染経路の特徴を把握し、その対策をきちん行っていくことが重要であること、被災後の集団生活を意識して感染対策に当たることについて詳しく解説していただきました。

課題別協議については 1. 学校環境衛生活動、2. 学校保健委員会、3. 喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育、4. 医薬品に関する教育の 4 項目が挙げられました。その中で、岩手県の学校薬剤師からは、まず、「盛岡市大慈寺小学校における学校保健委員会活動」というタイトルで大坪尚子先生がご講演されました。岩手県の学校保健委員会の状況や大慈寺小学校の学校保健委員会内容を発表され、実際にあった成果により相談される機会も増え、学校や家庭との連携が進められているということでした。次に「釜石高校での運動部サポートプログラムの紹介」～他専門家と連携し魅力ある内容を構築～というタイトルで中田義仁先生がご講演されました。平成 27 年度から養護教諭の協力のもとに栄養学、運動学、薬学の 3 部門について釜石高校運動部サポートプログラムを開講し、その内容が発表されました。学校薬剤師は薬学としてアンチドーピング活動とサプリメント等の講義でした。「希望郷いわて国体」の成功を継承し、岩手にスポーツ文化が根付くことを期待し、心身の健康だけでなく将来の人生にいかせるようにという思いの詰まった内容でした。

また、講義として「学校環境衛生活動における学校薬剤師との連携について」というタイトルで文部科学省 初等教育局 健康教育 食育課 健康教育調査官の小出彰広先生がご講演されました。その中で、学校薬剤師の法的位置づけを示され、学校薬剤師に期待することとして 1. 学校環境衛生の維持管理、2. 環境衛生に関する教育、3. 喫煙・飲酒・薬物乱用防止に関する教育、4. 医薬品に関する教育、5. 学校保健委員会などでの指導・助言、6. 学校と地域の専門的医療機関とのつなぎ役が挙げられました。学校薬剤師の活動は高く評価されている反面、学校側の学校環境衛生検査に対する認識及び連携が十分ではないことが話されました。そのため学校設置者は学校薬剤師を中立的な立場として、学校給食をはじめ学校環境衛生基準を満たすために連携を密にしていかなければならないということでした。

2 日間とも大変充実した内容でありました。今後の学校薬剤師活動に生かしていきたいと思います。

■ 第2課題「学校保健委員会」

学校保健委員会における学校薬剤師の役割 ～盛岡市立大慈寺小学校における活動を中心に～

岩手県・盛岡薬剤師会 学校薬剤師 大坪 尚子

1 はじめに

担当している盛岡市立大慈寺小学校は、岩手県の県庁所在地である盛岡市にある。盛岡市は岩手県内陸部、北上盆地のほぼ中央に位置し、市内中心部で主流北上川に雫石川、中津川が合流している。中心市街地からは岩手山、駒ヶ岳、早池峰山、姫神山などを望み、豊かな自然環境に恵まれ、美しい景観を形成している。他に、一本桜や石割桜なども観光地として多くの人が訪れる名所である。盛岡出身の石川啄木は「美しい追憶の都」、盛岡市ゆかりの宮沢賢治はエスペラント風に「モリーオ市」と記した。「みちのくの小京都」とも称される。

その中で、大慈寺地区は旧街道に沿って、もりおか町屋、酒蔵、寺院群等歴史的建造物を多数有し、城下町の風情を感じる町並みを残すとともに、今も生活用水として使われている湧き水や石垣等の歴史を感じさせる施設が地域生活の中に息づいている魅力ある町である。都市計画法に基づく制度で、「景観地区」に指定されている閑静な地区である。



大慈寺小学校の目の前には第19代内閣総理大臣となった原敬の菩提寺大慈寺があり、校章は、原敬の道徳を子供たちに伝える主旨で、原家の家紋である「三つ桜（三つ割桜）」に「大」の文字を挿入したものになっている。

また第37代内閣総理大臣・米内光政の菩提寺円光寺も近隣にあり、むかしの面影を残している。

創立昭和5年（1930年）、今年で87年目となる。現在、児童185人、教職員20人の小学校である。



2 学校保健委員会を設ける根拠

学校保健委員会は、子供の心身の健康を守り、安全・安心を確保する目的で学校全体として取組を進めるための組織である。また、学校保健委員会を通じて、学校内だけではなく、家庭、地域の関係

機関などの連携による効果的な学校保健活動を展開することが可能となる。

3 学校薬剤師についての法的根拠

- 学校保健安全法・第二十三条の4
 - ・学校における保健管理に関する専門的事項に関し、技術及び指導に従事する。
- 学校保健安全法施行規則・第二十四条の4、5（学校薬剤師の職務執行の準則）
 - ・健康相談に従事すること
 - ・保健指導に従事すること

4 学校保健委員会の現状

(1) 構成メンバー（盛岡市立大慈寺小学校）

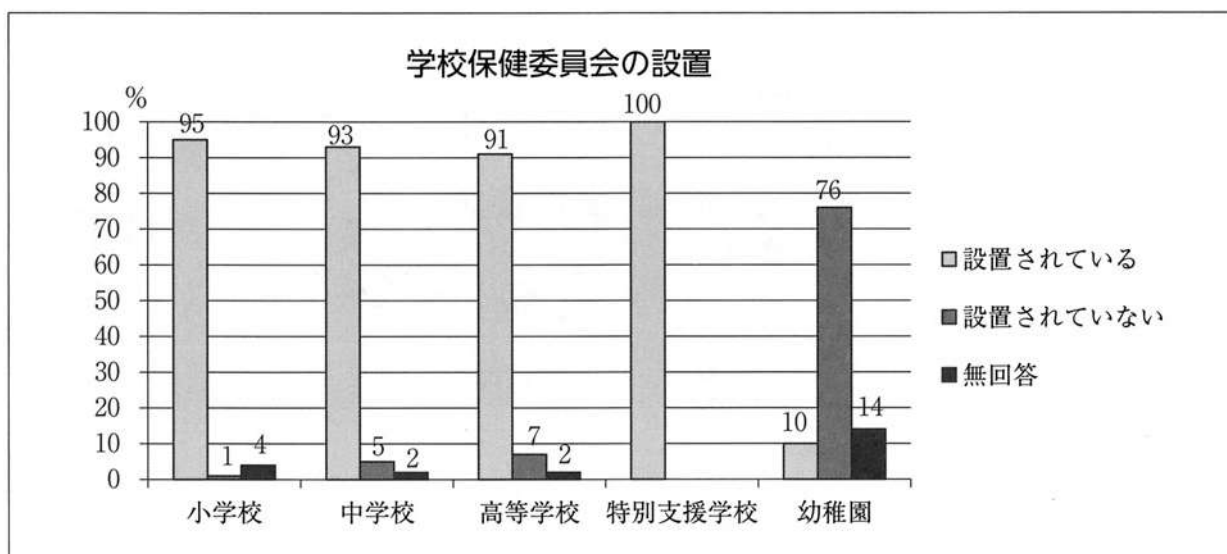
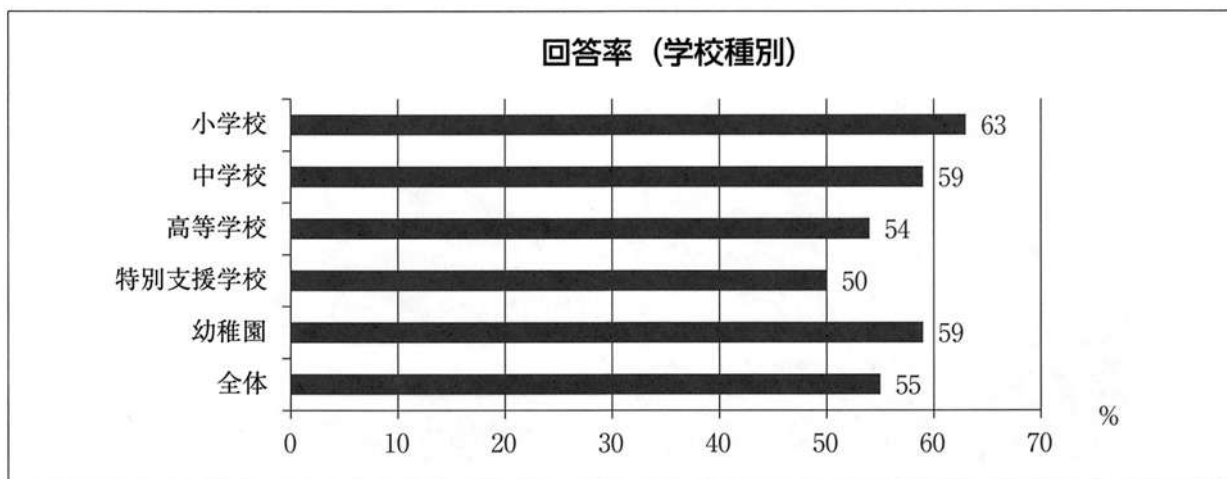
学校医（小児科、眼科、耳鼻科）、学校歯科医、学校薬剤師、PTA 会長、PTA 副会長（2名）、PTA 安全厚生部長、PTA 安全厚生副部長、校長、副校長、教務主任、保健主事、栄養教諭、養護教諭の16人

※児童数名（発表がある時）

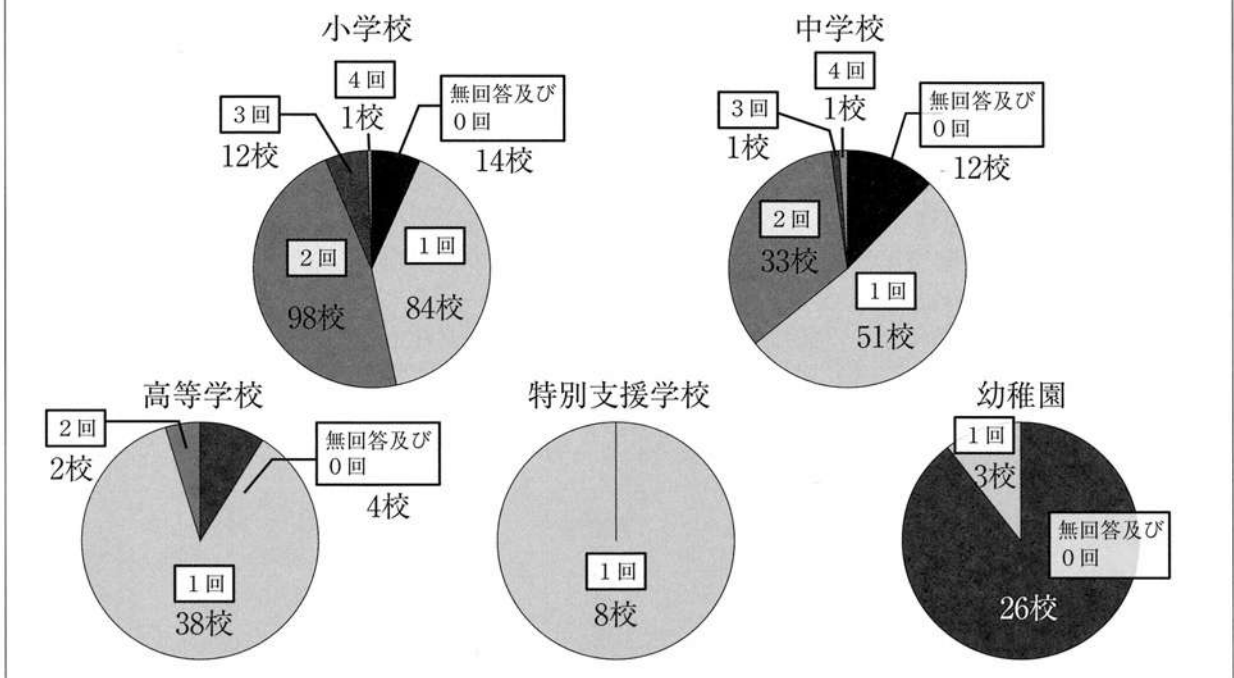
※希望するPTA（講話会時）

(2) 岩手県内における学校保健委員会の設置、開催数、学校薬剤師の出席率

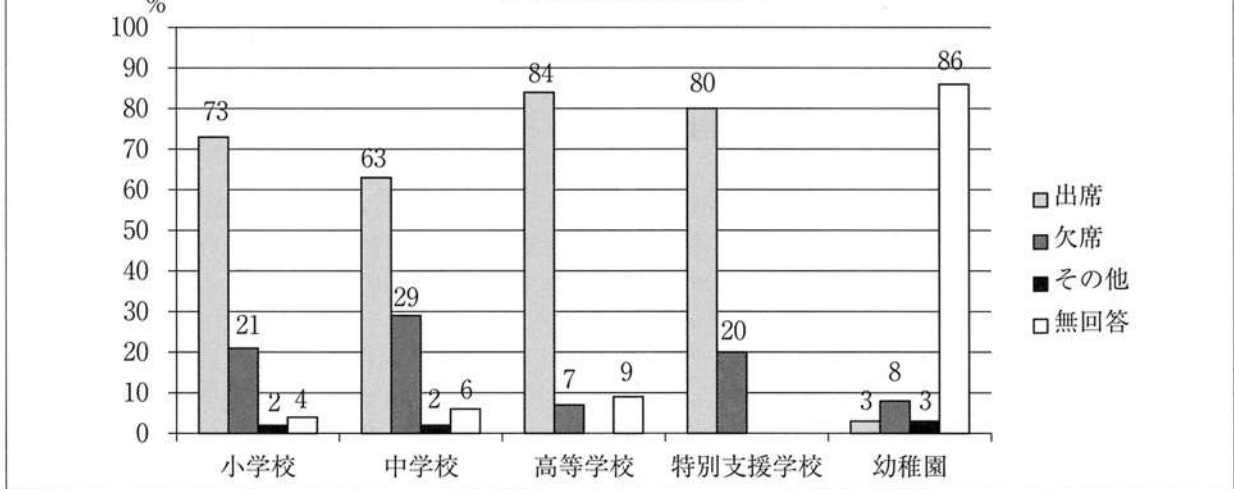
平成28年度の岩手県内学校薬剤師に対してのアンケート結果は以下のとおりである。



学校保健委員会の開催回数



学校薬剤師の出席率



(3) 学校保健委員会の内容

盛岡市立大慈寺小学校の場合、7月（1学期）と11月または12月（2学期）の年2回開催され、学校薬剤師は毎回参加している。

第1回（1学期）学校保健委員会では、健康教育について、学校給食・食育について、健康診断結果について、環境衛生検査結果についての報告があり、それらに関する質疑応答が行われている。

その後、学校医（小児科、眼科、耳鼻科）・学校歯科医・学校薬剤師より一言話す機会がある。昼間に行われるため、児童による健康・保健に関する活動報告や各学校医、学校歯科医、学校



薬剤師に対するの質問が時折りある。

第2回（2学期）学校保健委員会では、学校医（小児科、眼科、耳鼻科）・学校歯科医・学校薬剤師が順番で講話会を開催、又はテーマを決め、シンポジウムを開催するのが恒例であり、委員の他にPTAも参加できる。

学校薬剤師は、学校保健委員会において環境衛生検査の結果だけでなく改善された点についての報告も行っている。

また環境衛生検査に関する話の他に、旬の薬剤師関連の話題も話すようにしている。

そのことにより、薬剤師が関与できる事柄について知ってもらう機会となり、質問・問い合わせがくるようになった。



3学期には、委員が集まる学校保健委員会は開催されていないが、薬物乱用防止教室の事前打ち合わせに学校に行った際、養護教諭より次年度の環境衛生検査予定や講話会についての相談がある。

5 学校薬剤師による学校保健委員会での活動と実際にあった成果の例

学校環境衛生検査の結果によりその都度指導・助言は行っているが、特に学校保健委員会での発表により改善された例。

- ◇ 照度不足・・・蛍光灯とそのまわりの清掃を促す → “おやじの会”を発足し活動
- ◇ ……給食下処理室の明るさの相談 → 照度検査をして数値で評価 → 照明の増設
- ◇ ダニの検査・・・限界のためカーベットの交換を要望 → 創立80周年記念として父兄から寄贈
- ◇ ……教職員更衣室の一部畳について相談 → 掃除しやすく衛生的なバスマットに交換
- ◇ サプリメント・栄養ドリンク・スポーツ飲料の相談・・・薬物乱用防止教室の中で教育
→ 授業参観に合わせ父兄にも話す
- ◇ 庭の木々・・・大木は風情はあるが、葉が明るさを遮っており、また危険 → 枝を剪定
- ◇ ……プール用の更衣室の換気口から虫や虫の卵が中に入ってくる → 枝を剪定
- ◇ 学級担任より手の衛生についての教育をしたいと相談・・・手洗い前後の菌の培養比較
→ 岩手県薬剤師会検査センターに協力依頼
- ◇ 岩手国体での岩手県薬剤師会の活動報告・・・アンチ・ドーピング啓発活動
- ◇ 岩手県薬剤師会のパンフレット配布・・・調剤業務以外の活動を知ってもらう

6 まとめと考察

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校ではほとんどの学校で学校保健委員会が設置されており、年に1、2回開催されているが、幼稚園においてはまだまだ認識されていないことが分かった。

学校保健委員会に参加し、発言をし、情報を提供していくことで、教職員やPTA側からも素晴らしい提案や解決策があげられた。相談をされる機会も増え、学校薬剤師として見えていなかった問題点も見えてきた。また、岩手県薬剤師会の活動を発信することで、調剤以外にも町の薬局は、体や心の健康についての相談窓口であることを知ってもらい、家庭との地域連携を進めていくことができると考えられる。

■ 第4課題「医薬品に関する教育」

釜石高校での運動部サポートプログラムの紹介 ～他専門家と連携し魅力ある内容を構築～

岩手県 釜石薬剤師会・理事 中田 義仁

はじめに

釜石高校は、生徒数510名の釜石市にある文武両道の進学校である。運動部は15のクラブ数があり、平成29年度は402名運動部に所属している。野球部が、第88回選抜高等学校野球大会（平成28年3月）に21世紀枠で出場し、甲子園1勝を挙げたことは記憶に新しいところである。

平成28年は、「スポーツを通じて感動を全国に広げたい、全国からの東日本大震災復興支援に対する感謝を伝えたい」というスローガンのもと岩手国体が開催され、岩手県薬剤師会として薬剤師にしかできない支援活動として、アンチ・ドーピング活動を県内各地で実施した。

アンチ・ドーピングへの理解は、学校教育でも必要と考え、平成27年度から養護教諭の協力のもと「釜石高校運動部サポートプログラム」を開講した。

1 実施要項

運動全般に通じる内容のプログラムを構築し、1学年と2学年の運動部に所属している生徒と医療関係に興味を抱いている生徒を対象として、アンチ・ドーピングを医薬品の教育のひとつと位置付けて、運動学と栄養学と薬学の3本柱で実施した。平成27年度は「筋力アップ」、平成28年度は「けがの予防」、平成29年度は「競技力を向上するための体づくり」と同じテーマが繰り返さないようにして、2年間かけて幅広く理解してもらえるように努めた。

平成29年7月27日（木）に開催した内容は以下の通りである。

【目的】

- ① 競技力向上のための医・科学の知識を知ってもらうこと。
- ② 専門職の講義を受講し、職業選択の参考にすること。
- ③ 専門職と交流することで、生涯にわたり気軽に相談できる場を作ること。
- ④ 講演をもとに、生徒自身が計画・評価・改善を行い、競技力向上、または、向上するために主体性や考え方を育むこと。

【参加者】

- 1、2学年運動部生徒の希望者及び全学年の医療系・スポーツ科学等に興味のある生徒

【講師】

- ① 独立行政法人国立病院釜石機構釜石病院 院長 土肥 守氏
- ② 釜石シーウェイブス RFC ヘッドトレーナー 太田 光氏
- ③ 学校薬剤師 中田薬局 中田 義仁

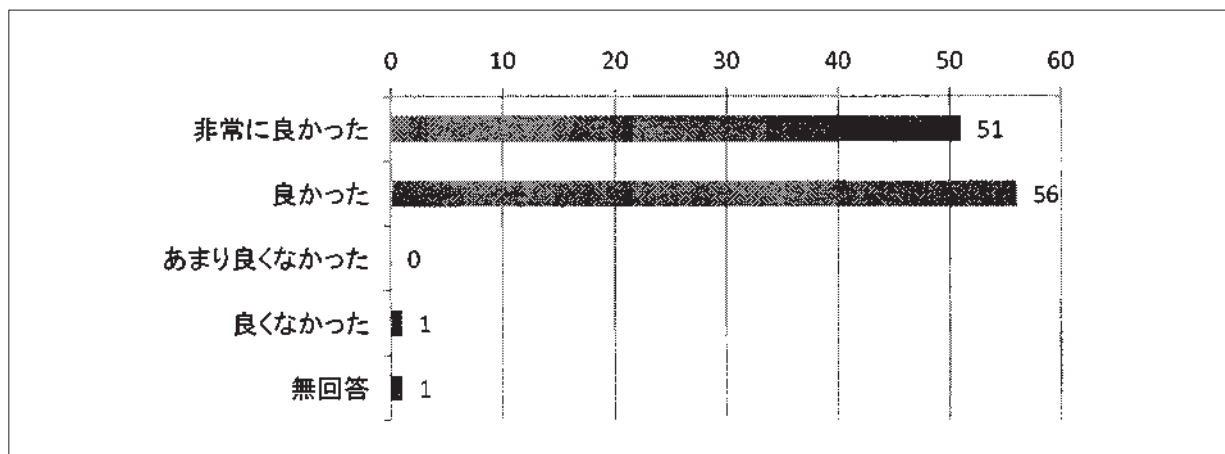
【講演内容】

- ① 栄養学 体づくりのための食事 ～効果的な食事のとり方～
- ② 運動学 筋力アップのトレーニング（実技指導あり）
- ③ 医薬品の教育 アスリートの貧血について ～サプリメントの考え方～

2 平成29年度アンケート結果

「平成29年度釜石高校運動部サポートプログラム」に参加した生徒は、男子51人、女子58人の計109人であった。「『競技力を向上するための体づくり』というテーマは興味のあるものでしたか?」という問いには、「非常に興味深い」と「やや興味深い」を合わせると87.1%であった。「参加して良かったか?」という問いには、「非常に良かった」と「良かった」を合わせると98.1%であった。生徒の個別の感想を見ても、プログラム実施は、有用であったと思われる。

《「参加して良かったと思いますか?」》



3 今後の課題

- (1) 参加した生徒は、「運動部サポートプログラムに参加して良かった」と評価しているが、参加した生徒が学んだことを実行しているかは不明である。モニタリングする仕組みが必要である。
- (2) 全県で実施していくために、岩手県、医師会、歯科医師会、薬剤師会、栄養士会、トレーナー士会などが組織を作り協議することが必要である。

4 おわりに

平成28年に開催された「希望郷いわて国体」は、県民に多くの感動と勇気を与えてくれた。この成功を継続し、岩手に新しいスポーツ文化が根付くことを期待する。スポーツは、人類に感動や希望を与え、人を成長させてくれるなど測りしえない効果が期待できる。岩手の高校生が、スポーツを通じて、心身の健康だけでなく、目標や計画を立案して行動することを学び、将来の人生に活かして欲しいと願う。



平成 29 年 10 月 22 日（日）、エスポワールいわて 大ホールにおいて、一般県民を対象とした公開講座を開催しました。

岩手県薬剤師会 岩手県薬学・薬事関係者懇話会

公開講座

2017. 10.22 [日]
13:30-15:30
エスポワールいわて 大ホール
参加無料
定員 120名

健康はカッコいい!!

同時開催 薬剤師になりませんか 進路相談会

PROGRAM
13:30 あいさつ・『お薬手帳』啓発ポスターコンクール表彰式

セミナー
13:50 「トレーナー」 高橋 一 男 さん
15:30 「栄養士」 日 井 名 津 子 さん
「薬剤師」 本 田 昭 二 さん

本講座は、当会が岩手県から受託している「被災地薬剤師確保事業」の一環として、中・高生を対象に、薬剤師の活動を知ってもらうことにより、薬剤師を将来の職業の選択肢の一つに考えてもらいたい、ということで実施しているもので、6年目となる今年は、岩手県薬学・薬事関係者懇話会との共催という形としまして、講演のほかに、「薬剤師になりませんか？進路相談会」も同時開催しました。

講演に先立って、先般実施した「『お薬手帳』啓発ポスターコンクール」に応募いただいた中から、中学生部門・高校生部門それぞれの最優秀作品等について、表彰状の授与を行いました。



健康に影響を与える要因の中で、個人個人の意識が大きく関わっているのが生活習慣であるといわれていますが、時代とともに社会環境や食生活が変化し、また、ストレスの多い社会の中で中高生は、勉強やクラブ活動等、忙しい毎日を過ごしています。そこで、アスリートのコンディショニング向上に尽力されている専門家をお招きして、「アスリートに学ぶコンディショニングテクニック」と題して「10代からの体調管理」について一緒に考えるセミナーを企画しました。

岩手を代表するアスレティックトレーナーである、高橋一男氏からは、これまでの多くの選手へのサポートの経験を踏まえて、「普段の生活が『カギ』になる」ということで、「朝は自分で起きる」「目標を他人に話す」「リズムとパターンを作る」ということに日頃から取り組むことが大切と述べられました。

続いて、レストランや施設の管理栄養士ということにとどまらず、日本体育協会の公認スポーツ栄養士と活躍されている、日井名津子氏からは、「『自分に必要なもの』と『自分に必要な量』を食べることは、スポーツ選手もそうでない人の健康も守る」という前提で、「正しい判断は専門家に相談すること」「自己管理は将来の健康をつくる」ということを教えていただきました。

最後に、本田昭二常務理事から、薬や健康食品との上手な付き合い方、そして、薬だけでなく、健康に関するさまざまな相談に薬剤師が対応できることを訴求いただきました。

講演終了後も、参加者が講師に質問するため列をなしていたことから、テーマに対する関心の高さがうかがえました。

「薬剤師を目指してもらいたい」という企画ではありますが、今後も、それぞれの地域で、児童・生徒をはじめ住民の健康のために、様々な職種・専門家の方々と連携していきたいと感じたイベントでした。

（文責 専務理事 熊谷明知）



会務報告



月	日	曜	行 事 ・ 用 務 等	場 所	参 加 者	
10	1	日	フィジカルアセスメントを活用した薬剤師のための在宅医療対応フォローアップ研修 認定実務実習指導薬剤師養成講習会、更新講習会	岩手医大矢巾キャンパス 岩手医大矢巾キャンパス		
	4	水	東北厚生局による個別指導	農林会館	押切	
	7	土	第3回都道府県会長協議会	東京国際フォーラム	会長	
	8	日	第50回日本薬剤師会学術大会（～9日） 自民党岩手県連選挙対策会議	東京国際フォーラムほか ホテル東日本	会長ほか 坂川	
	11	水	四師会情報交換会	ホテル東日本	会長ほか	
	12	木	学校環境衛生・薬事衛生研究協議会（～13日）	ホテルメトロポリタン盛岡	会長ほか	
	15	日	健康サポート薬局研修会（A）	岩手県薬剤師会館		
	16	月	患者のための薬局ビジョン推進事業に関する研修会（宮古地区）	宮古市総合福祉センター	熊谷ほか	
	17	火	日薬連第2回全国会長・幹事長拡大会議 本田あきこ中央後援会役員会総務会・藤井もとゆき君と語る会	スクワール麴町ほか	会長、村井	
	18	水	東北厚生局による個別指導	二戸市民文化会館	金澤	
	19	木	平成29年度暴力団追放県民大会	盛岡市民文化ホール	会長	
	20	金	薬事功労者厚生労働大臣表彰式	厚生労働省講堂		
	21	土	第3回理事会・第3回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館		
	22	日	岩手県薬剤師会・薬学薬事関係者懇話会 公開講座	エスポワールいわて	会長ほか	
	25	水	東北厚生局による個別指導	宮古市	千代川	
	27	金	保険薬局部会	岩手県薬剤師会館		
	28	土	若手薬剤師フォーラム（～29日） 第50回東北地区認定実務実習指導薬剤師養成WS（～29日）	ホテルルイズ 東北医科薬科大学	会長ほか 金野、菅野	
	29	日	保険薬局研修会 岩手医科大学薬学部第10回卒後研修講座	盛岡市民文化ホール 岩手医科大学矢巾キャンパス		
	30	月	薬物乱用防止啓発事業推進委員会	岩手県薬剤師会館		
	31	火	麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣表彰等伝達授与式	岩手県庁		
	11	2	木	生涯教育推進委員会	岩手県薬剤師会館	
		3	金	フィジカルアセスメントを活用した薬剤師のための在宅医療対応研修	岩手医大矢巾キャンパス	
		5	日	日薬 健康サポート薬局担当者全国会議	TKP田町カンファレンスセンター	畑澤（昌）、八巻、新妻
		6	月	「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議 関東地区薬系大学訪問	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 東京都ほか	畑澤（昌）、押切、金野 宮手、熊谷
		8	水	第6回常務理事会 東北厚生局による個別指導 岩手県保健医療功労者表彰式	岩手県薬剤師会館 久慈市 エスポワールいわて	細田 会長
		9	木	市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修	紫波町役場	鷹鷲
		10	金	北海道・東北ブロック試験センター連絡協議会	アイーナ	宮手ほか
		11	土	北海道・東北ブロック薬事情報センター連絡協議会	秋田市	熊谷
		12	日	病院薬局実務実習東北地区調整機ワークショップ企画運営小委員会・タスフォース合同会議 高度管理医療機器管理者継続研修	岩手県薬剤師会館 アイーナ	
		13	月	平成29年度第2回岩手県高齢福祉・介護連携推進協議会	エスポワールいわて	熊谷
		14	火	第11回岩手県災害拠点病院連絡協議会	岩手医科大学60周年記念館	熊谷
15		水	平成29年度第2回健康いわて21プラン推進協議会	泉金ビル	熊谷	
16		木	第67回全国学校薬剤師大会 岩手県がん対策推進協議会	三重県津市 盛岡市勤労福祉会館	宮手 熊谷	
17		金	市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修 編集委員会	北上地区合同庁舎 岩手県薬剤師会館	伊藤	
18		土	災害看護研修会 自民党岩手県連総務会	岩手県立大学 ホテル東日本	中田、梅村 会長	
19		日	学校薬剤師部会研修会 認定実務実習指導薬剤師アドバンスワークショップ	岩手県薬剤師会館 岩手医大矢巾キャンパス		
22		木	市町村職員等在宅医療・介護連携基礎研修 東北厚生局による個別指導	二戸地区合同庁舎 盛岡市	金澤（悟） 畑澤（昌）	
23		木	フィジカルアセスメントを活用した薬剤師のための在宅医療対応研修	岩手医大矢巾キャンパス		
24		金	保険薬局部会役員会	岩手県薬剤師会館		
25		土	第4回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会	岩手県薬剤師会館		
26	日	健康サポート薬局研修会（B）	岩手県薬剤師会館			
30	月	日薬 都道府県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者会議 日薬連 組織強化に関する担当者会議	日本薬剤師会 スクワール麴町	中田、佐藤（大） 村井		



○東北薬剤師会連合会賞（薬事衛生功労）

表彰式・平成29年9月9日（ホテル東日本）



二戸薬剤師会
金澤 貴子 先生



盛岡薬剤師会
篠崎 俊行 先生

○平成29年度日本薬剤師会功労賞

表彰式・平成29年10月8日（東京国際フォーラム）



盛岡薬剤師会
大谷 道男 先生

○平成29年度薬事功労者厚生労働大臣表彰

表彰式・平成29年10月20日（厚生労働省）



盛岡薬剤師会
西野 豊 先生

○麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働大臣感謝状

伝達式・平成29年10月31日（岩手県庁）



久慈薬剤師会
伊東祐太郎 先生

○麻薬・覚醒剤乱用防止に功績のあった者に対する厚生労働省医薬食品局長感謝状

伝達式・平成29年10月31日（岩手県庁）



盛岡薬剤師会
本田 昭二 先生



釜石薬剤師会
中田 義仁 先生

○平成29年度岩手県教育表彰（学校薬剤師）

表彰式・平成29年11月1日（岩手県民会館）



盛岡薬剤師会
佐藤 昌作 先生



盛岡薬剤師会
四倉 雄二 先生



宮古薬剤師会
山口美千代 先生



久慈薬剤師会
久慈みどり 先生



二戸薬剤師会
生田 弘子 先生



二戸薬剤師会
川村 久代 先生



二戸薬剤師会
畠澤 徳行 先生

○岩手県知事表彰（保健医療功労）

表彰式・平成29年11月8日（エスポワールいわて）



二戸薬剤師会
金澤 貴子 先生

○平成29年度文部科学大臣表彰

表彰式・平成29年11月16日（ホテルグリーンパーク津）



気仙薬剤師会
高木 久子 先生



理事会報告



第3回理事会・第3回地域薬剤師会会長協議会 平成29年10月21日（14：30～16：30） 岩手県薬剤師会館	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会務報告と今後の予定について 2 第3回 都道府県会長協議会について 3 第68回 東北薬剤師会連合大会について 4 平成29年度 日本薬剤師会東北ブロック会議について 5 平成29年度 学校環境衛生・薬事衛生研究協議会について 6 平成29年度 岩手県総合防災訓練について 7 九州北部地方大雨災害への募金活動について 8 被災地薬剤師確保事業について 9 患者のための薬局ビジョン推進事業について 10 調剤過誤対策委員会から 11 病院・診療所勤務薬剤師部会から 12 保険薬局部会から 13 生涯学習担当者全国会議について 14 薬剤師資格証発行に係る実務説明会について 15 平成29年度 D E M事業の進め方等について 16 学会等への派遣について 17 会員の表彰について 18 その他
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 敷地内薬局の誘致に対する意見書について 2 健康ライフサポート薬局について 3 新規指定保険薬局の入会金について 4 その他
会長協議会協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度の県薬事業について <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県学校環境衛生優良校表彰について ・地域自殺対策強化事業について 2 平成29年度「薬と健康の週間」について 3 意見・情報交換 4 その他
第6回常務理事会 平成29年11月8日（19：00～20：45） 岩手県薬剤師会館	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会務報告と今後の予定について 2 平成29年度上半期事業実績について 3 平成29年度健康サポート薬局担当者全国会議 4 「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議について 5 保険薬局部会から 6 薬物乱用防止啓発事業推進委員会から 7 生涯教育推進委員会から 8 その他
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 県薬職員の冬季賞与の支給について 2 薬剤師会館の修繕について 3 岩手県薬剤師会 P R テレビ番組作成について 4 ラグビーワールドカップ2019への支援について 5 第69期臨時総会の運営について <ul style="list-style-type: none"> ①各事業所・部会・委員会の事業報告について ②平成29年度補正予算および平成30年度予算案の提出について 6 その他
第4回理事会・第4回地域薬剤師会会長協議会 平成29年11月25日（14：30～16：30） 岩手県薬剤師会館	
報告事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 会務報告と今後の予定について 2 「薬と健康の週間」の活動状況について 3 平成29年度健康サポート薬局担当者全国会議について 4 「患者のための薬局ビジョン」実現に向けた担当者合同会議について 5 保険薬局部会から 6 薬物乱用防止啓発事業推進委員会から 7 生涯教育推進委員会から 8 被災地薬剤師確保事業について 9 在宅医療人材育成研修について 10 会員の表彰について 11 県薬会館の修繕について 12 薬学薬事関係者懇話会・平成30年新年会について 13 その他
協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 新規指定保険薬局の入会金について 2 その他
会長協議会協議事項	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成29年度の県薬事業について <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年活動報告について ・健康ライフサポート薬局について 2 意見・情報交換 3 その他



委員会の動き



薬物乱用防止啓発事業推進委員会から

委員長 畑澤 昌美

平素は当委員会事業にご理解と御協力をいただきましてありがとうございます。

当委員会は県民に対し、薬物乱用の害に関する正しい知識と薬の正しい使い方を啓発することにより、薬物乱用防止とセルフメディケーション推進を図ること。

「顔の見える薬剤師」の活動として、学校薬剤師や薬物乱用防止指導員等の活動を支援する。

地域薬剤師会の薬物乱用防止啓発に関する研修会等への講師派遣要請に対応する。

「健康ライフサポート薬局」事業への協力することを事業方針として活動しております

【今年度の事業予定】

I. 薬物乱用防止啓発事業の実施

(1) 薬物乱用防止啓発講座の講師については原則として学校の場合は当該校の学校薬剤師が、学校以外の場合は要請のあった地域の薬剤師が務める。

(2) 事業の周知について

・「薬物乱用防止啓発事業についてのお願い」を県学薬部会長から地域薬剤師会長・各学薬支部長へ周知依頼。

(地域教育委員会へは3月までに各学校薬剤師会支部長から周知を依頼する)

・学校から直接県薬へ講師を指名し派遣依頼をされた場合も、当該校の学校薬剤師にも周知する。

・事業手順は従来通り。

・薬物乱用防止教室や出前講座などの実績を、情報センターから定期的に地域薬剤師会長、学薬支部長、薬物乱用防止啓発事業推進委員会へ報告する。

(3) 講師の養成について

・薬物乱用防止教室について会員へ情報提供や研修会を行う。

(4) 日薬などの全国レベルの研修会へ派遣（公募）、更に支部からも参加者を出してもらおう。参加者から伝達講習をしてもらう。

・H29年10月12日～13日開催の平成29年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議会へ協力する。

II. 研修会

・薬物乱用防止啓発講座研修会（学校薬剤師部会と共催）を開催。

平成29年12月2日（土）に研修会を開催

（会場：県薬会館）

1、あいさつ

学校薬剤師部会 部会長 宮手義和

2、講演「初めての薬物乱用防止教室」

ファミリー薬局 鷹嘴直祐

つくし薬局猪川店 菅野和規

3、講演「薬物乱用防止教室用資材の使い方」

薬物乱用防止啓発事業推進委員会

委員長 畑澤昌美

4、特別講演「薬物乱用防止教室の進め方」(仮)

一般社団法人仙台市薬剤師会

会長 北村哲治 先生

・岩手医科大学や岩手大学の学生に対する「薬乱防止に対する意識付け」に関する働きかけをする。

・岩手県教育委員会主催の研修会へ協力をする。

以上の様な活動予定ですので、どうぞよろしくお願ひ致します。

日薬認定制度移行に伴う J P A L S の仕組みの変更について
(実践記録提出期限の変更等)

委員長 八巻 貴信

この度、日本薬剤師会から「日薬認定制度移行に伴う J P A L S の仕組みの変更（実践記録提出期限の変更等）」について次の通りご案内致します。

なお、既存の P S に該当しない学習内容の場合には、新たな選択肢として、領域ごとに「その他」の P S 番号を設けましたので登録してください。

1、実践記録について

(1) 日本薬剤師会への提出期間の変更

2017 年度の提出期間は、2017 年 4 月 1 日～2018 年 1 月 10 日となります。

2018 年度以降の提出期間は、1 月 11 日～翌年 1 月 10 日となります。

(注 1) 期間内に決められた本数の提出がない場合、レベルの維持・昇格の対象となりません。

(注 2) 提出済の実践記録については、1 月 11 日以降に追記・修正できません。

* 実践記録提出方法は、J P A L S にログイン後、「早わかり！ J P A L S」の「超簡単マニュアル」を参照ください。

(4) Web テスト期間について

2017 年度の Web テスト期間は、2018 年 3 月 1 日から 31 日となります。

(2) 実践記録の記載について

今年度より、提出される実践記録の、「この研修のまとめ」欄に学習内容が記録されていることに加えタイトルとその記録に整合性があることが必須となります。提出された実践記録が記載不十分の場合、当該年度の Web テストの受験が認められないことがあります。

(3) 実践記録提出の際の必須条件の変更

2018 年 1 月 11 日以降の実践記録提出分より、STEP 2「P S 登録を行う」のチェックが必須となります。学習内容に該当する P S を必ず登録してください。

選択されませんと、STEP 3 に進むことができません。



部会長 本庄 伸輔

(平成29年度活動方針)

本部会は、患者に安全で有効な薬物治療を提供するための病院薬剤師業務の充実及び病診薬（薬薬）連携の推進を事業方針の柱に掲げ活動しています。

(体制)

昨年度に引き続き、下記のメンバーで部会を運営して参ります。

担当副会長：宮手義和、幹事：佐藤文彦（医大附属）、佐藤裕司（常務理事・総合花巻）、佐々木栄一（理事・盛岡赤十字）、佐々木宣好（盛岡市立）、菊池英（県立二戸）

(役員会の開催)

平成29年9月26日（火）に岩手県薬剤師会館に於いて平成29年度第1回病院・診療所勤務薬剤師部会役員会を開催し、平成29年度事業計画、県薬・県病薬合同研修会の開催、研修カレンダー情報の発信等について協議しました。

以下、役員会での決定事項を中心に報告させていただきます。

(部会役員会の開催)

今年度は2回開催することし、次回は平成30年2月頃に開催する予定です。なお、保険薬局部会との合同役員会開催を検討します。

(研修会の開催)

当部会では「岩手県の病薬連携を推進するために」を3年連続のテーマに掲げ、岩手県病院薬剤師会と合同で研修会を開催してきました。1年目（平成27年）は全国の最新ネットワーク事情にフォーカスした内容の研修会を開催し、昨年は当県のネットワーク構築の現状について、岩手県立中部病院長の遠藤秀彦先生から「地域包括ケアシステムにおける中部医療ネットワーク構築と多職種連携による薬剤師の必要性」と題してのご講演を頂戴しました。

最終年度となる今年度は、介護ネットワークシステムにフォーカスした内容の研修会を開催することを決定しました。

日時：平成30年3月10日（土）

会場：盛岡地域交流センター「マリオス」

会費：無料（会員）

参加者：150名程度

共催：帝人ファーマ

開催テーマ：ICTを活用した多職種連携

内容：○一般講演「〇〇圏域における医療ネットワークの現状」（2題を予定）

○特別講演「介護ネットワークのバイタルリンクについて」（仮）

〔講師〕（富山県）やまだホームケアクリニック院長 山田 毅 先生

多職種連携による在宅医療の支援が拡大する中で、薬局薬剤師の先生方にとっても介護分野での最新のICTネットワークシステムを知るよい機会ですので、多数の参加をお願いいたします。

(ポリファーマシー対策)

近年、高齢者におけるポリファーマシーが問題となっていますが、現在、県立中央病院では盛岡医師会及び盛岡薬剤師会と共同でポリファーマシー問題に関する調査研究が行われており、研究の進展次第では当部会もこの研究に協力して行くことが承認されました。

(電子お薬手帳の周知と活用推進)

処方せんへのQRコード記載や全国的に普及し始めている電子お薬手帳に関し、協議しましたが、県内の進捗状況に関する情報不足は否めず、まずは情報収集をすることになりました。

(内服薬処方せんの記載方法の標準化)

現在のところ、県内で導入した施設はないと思われ、県立病院でも同標準化（1回量表示）を当局に要望している段階で、導入にはまだ時間がかかる状況です。10月行われた厚生労働省による医療施設静態調査には同標準化の項目がありましたが、同標準化の実施には強制力がないことが普及しない大きな理由と思われる。部会としても当面は各施設の対応を見守ることになりました。

以上



地域薬剤師会の動き



北上薬剤師会

〈北上地区の多職種連携による在宅における薬学的管理推進モデル事業について〉

伊藤 貴文

昨年より岩手県薬剤師会の主導で、厚生労働省のモデル事業「多職種連携による在宅における薬学的管理推進事業」がスタートしました。すでに奥州・釜石・気仙地区の3カ所は去年実施され、今年は北上・花巻・宮古地区で実施します。

この事業の一環として、平成29年9月27日(水)北上市役所を会場に「患者のための薬局ビジョン推進事業に関する研修会」を開催いたしました。参加人数は、薬剤師48名、ケアマネジャーや保健師等の他職種27名と多くの方に参加していただきました。

研修会の内容については、4つあります。1つ目は、本事業の目的である、地域包括支援センター等と連携し、薬学的サポートが必要とされる方に対し、薬剤師が保健師やケアマネジャーと同行訪問します。対象患者のお薬に関する問題点を整理しアドバイスをすることができ、その結果、薬物治療効果を高めるといった内容を説明しました。2つ目は、北上地域のモデル事業の具体的な実施方法を説明して、実際に協力していただく北上市内の薬局へ周知いたしました。3つ目は、介護職が多数参加していたこともあり、薬局薬剤師の活用・連携のススメをお伝えしました。4つ目は、薬剤師やケアマネ等6人程に分かれてグループワークを行いました。岩手県薬剤師会で作成した「介護支援専門員・かかりつけ薬剤師連携アセスメントシート」を事前にケアマネジャーへ配布し、薬に関して困っている患者をピックアップしていただきました。グループごとに異なる事例提供が提示され、最後に全体で内容を共有しました。その中で、介護職から薬が飲めない（飲まない）方にはどうアプローチすればよいか、例えばパーキンソン病薬を1日6回服薬させるにはどうすればよいかといった相談が寄せられ、薬剤師のアドバイスや意見交換が活発に行われ、研修会を通じて薬剤師と介護職との交流を深めました（写真）。



モデル事業は次の段階に進みます。北上地区の特徴は、5つの地域包括支援センター（本通り・いいとよ・北上中央・展勝地・わっこ）と各包括地域に存在するリーダー薬局（あさひ薬局・サンケア薬局・つくし薬局・常盤台薬局・キセキレイ薬局）がタッグを組むことです。そして事例対象となった患者が、かかりつけにしている薬局を巻き込みながら、同行訪問がスタートします。

今回活躍するリーダー薬局が、2025年までに形づく地域包括ケアシステムにおいても、地区担当となっていただければなあと思います。行政やケアマネジャーの方々より「この地域のことは、まずはあそこの薬局に相談すればよいのね」というシステムがあることはすごく助かるという声をいただきました。

最後に、顔の見える関係は大切ですが、「見えるかたち」にしてこそ、本当の連携といえると考えます。今回のモデル事業をきっかけに北上地区の医療・介護連携をさらに発展させていければと思います。

平成 29 年度の活動目的は、昨年同様、会からの情報伝達及び会員間の情報交換の活性化・各種研修会の開催、地域関係団体との医療連携・地域住民に向けたよりよい情報提供づくりとしました。

【1】薬剤師会総会について

平成 29 年 5 月 19 日(金)、定刻より少々遅れて、久慈グランドホテルにおいて開催しました。出席者数は本年度会員 42 名のうち、本人出席 24 名・委任状出席 11 名で、例年より多数の出席者でした。

小向会長の挨拶の後、ご来賓の岩手県薬剤師会会長畑澤博巳先生より、ご祝辞を賜りました。議長は賛成多数で福本優悟先生が議長に選任されました。

司会進行役新渕純司先生より挨拶の後、議案の審議に入りました。報告事項(平成 28 年度事業報告・会計報告・監査報告)、協議事項(平成 29 年度事業計画〈案〉・収支予算〈案〉)について、事務局担当理事が内容を説明し、すべて承認・可決されました。

【2】研修会について

地域住民が安心して食生活や心と体の健康・介護等の相談が出来る「かかりつけ薬剤師・薬局」を目指していくには幅広い知識の習得が欠かせません。今年は岩手県薬剤師会副会長宮手義和先生をお招きし「学校給食室の定期検査」についてとても役立つ講義をしていただきました。

これからも様々な研修会等を開催し、薬剤師の資質向上とさらなるスキルアップに努めたいと思います。

【3】薬と健康の週間事業について

平成 29 年 10 月 14 日(土)・10 月 15 日(日)の両日、久慈市産業まつりの催しの中で、お薬相談コーナーを設けて開催しました。今年は相談件数が非常に少なく残念な結果となってしまいました

が、足指力測定が大変好評で、個人の意識は高く健康づくりを始めるきっかけに役立てて頂けたらと思います。

地域住民の皆様とふれあい交流する場はそうそうないので、楽しいひと時となり良かったと思います。



昨年、台風 10 号の影響によりやむなく中止となってしまった「久慈秋祭り」ですが、台風被害を乗り越え、今年は例年よりもさらに大きな山車と活気溢れる神輿とのんちゃん(能年玲奈)の参加により大いに盛り上がりました。皆様も是非一度「久慈秋祭り」にお越し下さいませ。



薬連だより



藤井もとゆき国会レポート

自由民主党総務副会長
参議院議員・薬剤師

藤井もとゆき



来年度政府予算編成に向けて

日本列島を襲った台風の影響で、週末は大荒れの日が続いていますが、11月最初の3連休は久しぶりに穏やかな天候に恵まれ、紅葉の見頃を迎えた行楽地は、鮮やかな彩りを楽しむ人々で賑わっていました。プロ野球日本シリーズは、パリーグ王者のソフトバンクがセリーグ3位から勝ち上がったDeNAを下し、8回目の日本一に輝きました。また、海の向こう米大リーグワールドシリーズは、アリーグ王者のアストロズが制覇し、ダルビッシュ投手、前田投手在籍のドジャースは1歩及びませんでした。今シーズンオフには、日本ハムの大谷選手の大リーグ移籍も囁かれていますし、早実高校の清宮選手をはじめ、多くの有望選手がプロ野球の道に歩みを進めます。各球団とも戦力を整え、来シーズンもエキサイティングな試合を見せてくれるものと期待しています。

荒天の10月22日に投開票が行われた衆議院総選挙は、自民・公明の連立与党が3分の2を超える議席を確保し、引き続き安定した政権運営を担うこととなりました。ご支援頂いた皆様には心より御礼申し上げます。

さて、年末の来年度政府予算編成に向けて、政府内での議論が活発になっています。来年4月に報酬改定を控える医療・介護の分野では、財務省が10月25日の財政制度審議会の分科会に報酬改定に関する改革案を提示しました。

改革案では診療報酬について、毎年増加する医療費を高齢化の要因による伸びの範囲に収めるためには、2%半ば以上のマイナス改定が必要となるとし、更に、診療報酬本体の水準は賃金や物価の水準と比べ高水準となっており、国民負担の抑

制や制度の持続可能性の観点からは是正の必要があります。診療報酬本体のマイナス改定も求めています。調剤報酬に関しては、「かかりつけ薬剤師・薬局」のビジョンに向けて、地域においてかかりつけ機能を担っている薬局は適正に評価しつつ、機能していない薬局の報酬水準は適正化し、大手調剤グループに所属する薬局や、処方せん集中率の高い薬局には、経営環境・収益性の観点から、より低コストのサービスを求めていくべきとしています。

薬価制度については、昨年末に示された「薬価制度の抜本改革の基本方針」に則り、新薬の効能効果の追加等により保険適用時の見込みより販売額が増加した場合の薬価引下げの仕組みの導入、現行の新薬創出等加算制度は廃止又は適用対象の絞り込み、及び費用対効果評価の義務付けなどを求めています。

また、10月26日の経済財政諮問会議に加藤厚生労働大臣が提示した資料では、「薬価制度の抜本改革に向けた基本方針」に基づき改革を具体化することや調剤報酬の抜本的な見直しを行うことなどが示されています。

医療費の増大に対して財政面からは厳しい考え方が示されていますが、医療の質の低下を招いたり、薬剤師・薬局の適正な評価が損なわれたりすることのないよう、今回の衆議院選挙で見事再選された、自民党薬剤師議員の松本純先生、渡嘉敷奈緒美先生のお二人とも力を合わせて取り組んで参りたいと思います。

藤井もとゆきホームページ <http://mfujii.gr.jp/>



薬連だより



本田あきこオレンジ日記

日本薬剤師連盟
副会長 本田あきこ



都道府県訪問の旅

日本薬剤師連盟副会長の本田あきこです。今月から、「本田あきこ オレンジ日記」とのタイトルで、私の連盟活動を中心に近況をお伝えすることに致しました。

3月22日の定時評議員会において、組織内統一候補として決定いただいてから7か月以上が経過しました。評議員会の翌日に日本薬剤師連盟の副会長を拝命し、直ちに地元熊本県から九州各県の訪問活動を開始しました。九州ブロックでは、原則各県4日間をかけて、出来る限り多くの会員の方々と直接お目にかかれるよう訪問活動をさせていただきました。

九州訪問を終えてからは、本年中に全ての都道府県の役員の皆さんにお目にかかり、挨拶を終えることとし、10月末現在40の都道府県を訪問することができ、残り7県となっています。訪問活動の状況は、連盟の機関紙「POWER!」の紙上でお伝えしておりますので、ご覧いただければ幸いです。

これまでの訪問先では、皆様に温かく迎えていただいておりますことに心から感謝申し上げます。訪問先の会合では、政治を目指す契機となった、薬学6年制に関する国会における議論を間近で見聞きしたことに加えて、熊本薬剤師会勤務となって間もなく発生した熊本地震の復興対策に参加し、被災者への医薬品供給等に携わったことなどをお話しし、私の役割は、薬剤師同志の絆が更に深まるよう汗をかくことだと認識していることなどをお話しさせていただいています。

私のイメージカラーをオレンジ色としていただきましたので、毎日の服装に必ずオレンジ色を入れるよう心がけています。また、訪問先でお会いする皆様にも、オレンジ色のネクタイやスカーフを付けていただいている方々が急速に増えているように感じており、そのたびに感激しております。これからも、出来るだけ多くの皆さんとお会いできるよう頑張る所存です。ポスター、名刺型資料も新しいものを作成する予定です。今後とも、本田あきこへのご支援をお願い申し上げます。

1 Facebook ページ「本田あきこの部屋」を公開しました。

<https://www.facebook.com/Honda.Akiko.Room/>

2 本田あきこのホームページを開設しました。

<https://www.honda-akiko.jp/>

3 本田あきこメールマガジンを開始しました。

右のQRコードから登録
をお願いいたします。→



岩手県薬剤師連盟「若手薬剤師フォーラム2017」開催！

10月28日(土)・29日(日)の2日間にわたり、ホテルルイズ盛岡において、「薬剤師の政治意識の向上」、「次世代リーダーの育成」を目的として、県内各地から概ね40歳以下の若手薬剤師26名が参加し、開催されました。

オープニングは、畑澤会長による「薬剤師連盟の役割と変遷」と題した基調講演です。日本薬剤師会・岩手県薬剤師会の歴史をひもときながら、先達の活動や功績等についてエピソードを交えて、薬剤師のこれまで、そしてこれからについて講義いただきました。今や、医療機関が院外処方箋を発行することは、当然のこととなり今日の薬局薬剤師にとって、処方箋調剤は日常的業務であるわけですが、ここに至るまでの先達の苦労や献身的な活動を知る機会はありませんことから、参加者は皆興味深く聞き入っている様子でした。

続いて、日本薬剤師連盟の荻野構一副会長から「薬剤師連盟の活動」と題した講演を拝聴しました。とかく理解することが難しい行政資料をとでも分かりやすく解説していただきました。そして、連盟幹部の方々の活動が、調剤報酬や薬剤師の関する制度等の制定に密接に関わっており、非常に重要だということ意識されたと思います。



(日本薬剤師連盟 荻野 構一 副会長)

その後、アイスブレイク・情報交換会で、緊張が解けたところで、「薬剤師として、夢を叶えるために、今、そして、これから何をすべきか?」というテーマでグループディスカッションを行いました。各グループともかなり盛り上がっている様子がみてとれました。

グループ内で他者の意見や活動を聞くことで、参加者それぞれが改めて「薬剤師」というものを考える機会となり、「(自分だけでなく)他の人も

同じような事を考えている」「そういう考え方もあるのか」ということを感じ取り、「今のままでいいのか」「何かをしなければ」といった意識で熱心な討議が行われ、その結果、建設的なアクションプランが数多く提示されました。



今回参加された皆さんには、これまで以上に地域薬剤師会の活動に参加し、発言する。それとともに、今回参加した仲間の輪を拡げていただきたいと思います。



我々スタッフは参加者の皆さんから、「パワー」と「情熱」、そして「勇気」をいただきました。「薬剤師が変われば日本の医療が変わる」という話を聞いたことがありますが、一人ひとりの力は小さくても、個が集まることで大きな力になるはずです。そのためにも勇気を持って、「はじめの一歩」を踏み出そうじゃありませんか。

(岩手県薬剤師連盟副幹事長 熊谷明知)



ドーピングについて知ってけろ

岩手医科大学薬学部 杉山 育美

本学薬学部の活動におきまして、岩手県薬剤師会の皆様には日頃よりご支援を賜り誠にありがとうございます。

本稿では、若いアスリートに対するスポーツファーマシストとしての活動を紹介させていただきたいと思います。私は学校薬剤師として北上市立南中学校と県立黒沢尻工業高校を担当させていただいており、1年に1回行っております薬物乱用防止教室の際にアンチドーピングの話を盛り込んでおります。生徒さんたちが熱心に耳を傾けてくれることからアンチドーピングへの関心の高さを実感しております。

また、県立黒沢尻工業高校は言わずと知れたスポーツ強豪校のひとつで、ラグビー部が全国大会の常連であったり国体の選手に選ばれる生徒さんがいたりします。そこで、大会が近い生徒さんを対象とした研修会を小規模で行い、アンチドーピングを身近に考える機会の提案をさせていただきましたところ、校長先生をはじめ各部の監督・コーチよりご賛同いただくことができました。2016年度より日程等を調整し、2017年9月6日にえひめ国体出場選手を対象とした第1回の研修会をついに実現することができました。研修会では以下のことを心がけて行いました。

《参加型の会にすること》

一方通行ではなく、意見を求め一緒に考えながら研修会を進めました。例えば検査前にしても良いこととダメなことを付箋に書き、貼ってもらいました(写真)。また、少人数であることを活かし、参加しやすいように紙芝居形式で行いました。

《理由を伝えること》

事実を伝えるだけでは記憶に残らないことも、理由と一緒に理解すれば記憶に残りやすいことから、「何でだと思う?」「どう思う?」をたくさん使いました。

《楽しむこと》

第1回研修会のタイトルは「ドーピングについて知ってけろ」としました。県外出身者の私が好きな岩手の方言のひとつです。方言は初対面で緊張しているときや心の距離が遠いときに使える魔

法の言葉です。この日は、このタイトルで生徒さんの最初の笑顔を見ることができたので良かったと思っております。また、質問をすると生徒さんがわざと変な答えを言ったり冗談を言ったりしてくれ、私も楽しみながら研修会を進めることができました。楽しむことで「いつでも気軽に相談できるんだ。」と思ってもらえる関係を育むことができると期待しております。



研修会の最後に、競技に対する意気込みを生徒さんに書いてもらい、アンチドーピングの精神は「正々堂々と勝利する」ために重要であることをしっかりと記憶してもらいました。

本研修会を開催したいと思った最大のきっかけは、いわて国体でドーピング検査対象となった選手が非常に不安そうであったことでした。あらかじめ知識を持っていることで不必要な不安を抱くことなく競技に集中することができます。これこそが我々スポーツファーマシストの役目なのではないかと考え、伝える活動をしたいという思いを強く抱くようになりました。大変ラッキーなことに、私は学校薬剤師という接点からこの思いを実現するきっかけを得ることができました。そして今後はさらに積極的に活動し、岩手県内に、欲を言えば日本国内にこの活動を拡散していきたいと思っております。資格を持つすべての先生方と一緒にアスリートのための活動を展開していきたいと心より希望しております。

先日、黒沢尻工業高校ラグビー部が第97回全国高等学校ラグビーフットボール大会への出場を決めました。ラグビー部の選手を対象に第2回研修会を11月に開催する予定です。

ゆぐち薬局（花巻市） 佐藤 大峰

私の勤務する薬局では、しばらく実習生を受け入れていないこともあり、実務実習に関する情報にも無頓着でいたので、「平成31年から何がどうなるの?」という状態でした。

8月20日には、「実務実習受入に関する研修会」があり、参加してみたら、講師の人たちは「指導する内容には変化はありません。ただ、評価の仕方が少し変わるだけです。」というものの、新しい言葉が出てきたりで、ちょっと不安になりました。

そんな中、9月23日（土）に岩手医科大学矢巾キャンパスにて開催された、平成29年度第1回「認定実務実習指導薬剤師を対象とするアドバンスワークショップ」に参加しました。

オリエンテーションでは、薬学教育モデル・コアカリキュラムが改訂され、平成31年から新カリキュラムでの実習が開始されること。そのため、我々指導薬剤師も新カリキュラムでの実習に対応しなければならないこと。

そして、新カリキュラムへの改訂のポイントとして、

- ①「薬剤師として求められる基本的な資質」に基づいて一般目標（GIO）、到達目標（SBOs）を見直すこと。
- ②学習成果基盤型教育（OBE：Outcome-based Education）の考え方を導入すること。
- ③改定後のカリキュラムで学んだ学生が社会に出た時（10年後）の薬剤師が必要とする新たな内容を含むこと。

が挙げられること。また、OBEでは、「何を教えたか」ではなく「学習者が何をできるようになったか」という考え方になり、社会が薬剤師に求めるニーズが目標に反映されていて、薬剤師も学生と一緒に目標に向かって対応していくことが求められる、と説明がありました。

その後、参加した指導薬剤師26名は、3つのグループに分かれて、「薬物療法の実践」「地域包括ケアへの参画」「医療倫理に基づいた行動」の能力いずれか一つについて目標、評価、方略を作

成するためにSGDを行いました。

ワークショップと同様に、病院・薬局・大学と異なる職域のメンバーで、しかも、実際に学生の指導にあたっている、現役バリバリの人たちがばかりで、ディスカッションでは様々な意見がでて大いに盛り上がりました（ただ、意見が出過ぎて、司会・発表・記録の人は大変だったかもしれません）。

グループ毎に、目標（アウトカムと学習目標）、評価（評価計画とルーブリック）、方略（デザインと文脈）のプロダクトを作成したわけですが、実際にOBEの考え方を踏まえたカリキュラムプランニングを体験することは貴重な経験でした。

これまで学生を受け入れる際、どうしても個々のSBOをこなすことに意識が向いていましたが、新カリキュラムにおける「F薬学臨床」（従来の大学における実務実習事前学習と病院および薬局実務実習に該当する部分）のGIOである「患者・生活者本位の視点に立ち、薬剤師として病院や薬局などの臨床現場で活躍するために、薬物療法の実践と、チーム医療・地域保健医療への参画に必要な基本的事項を修得する。」ことを常に意識して、「実習生が何をできるようになったのか」を助力できる指導薬剤師として準備していこうと考えに至りました。

OBEの考え方は、実務実習のみならず、日々の業務、さらには、日常生活の中でも有効なものです。そして、「F薬学臨床」のGIOは、学生の目標にはなっていますが、まさに、薬剤師の目標でもあります。

丸一日の研修ということで、「大変なのでは?」思う方もいるかもしれませんが、毎日、日常業務に追われている薬剤師にとって、他の薬局や異なる職域の方々の話を聞く、ディスカッションするというのはとても貴重で、楽しい時間です。

まだ、アドバンスワークショップを受講していない皆さん、ぜひぜひ参加してみてください!

質問に答えて

Q. 「C型肝炎治療薬」について教えてください

○C型肝炎とは

C型肝炎はC型肝炎ウイルス（HCV）の感染によって引き起こされる肝障害を主体とする病気です。現在、HCVキャリアは全世界で1億7000万人、本邦で150万～200万人存在すると推定されています¹⁾。HCV感染による炎症の持続（慢性肝炎）により肝線維化が惹起され、肝硬変や肝細胞癌へと進展します。C型肝炎治療の目標は、肝発癌および肝疾患関連死を抑制することであり、治療目標を達成するため抗ウイルス療法を行い、HCVの排除を目指します¹⁾。

HCVは1型（1a, 1b）や2型（2a, 2b）などいくつかの遺伝子型（ゲノタイプ）が存在しています。日本人では1b型への感染が約70%と最も多く、ついで2a型や2b型への感染が多いと言われています。特にHCV1型の治療は、インターフェロンへ抵抗性を示していましたが、近年の直接作用型抗ウイルス薬（DAA）の登場により、インターフェロンを使用せず高い治療効果と副作用が少ない治療へ進歩しています。

○直接作用型抗ウイルス薬（DAA）について

DAAは作用機序により3種類に分類されます。DAAはウイルスの複製に必要なNS3/4A（プロテアーゼ活性）、NS5A（ウイルスゲノム複製複合体形成）、NS5B領域（RNA依存性RNAポリメラーゼ活性）にそれぞれ結合し、活性を阻害すること

で抗ウイルス作用を示します（図1）。

○DAAによる治療

第Ⅲ相臨床試験の成績で、いずれのDAA併用療法も高い治療効果が確認されています¹⁾。例えば、NS5A阻害剤レジパスビルと核酸型NS5Bポリメラーゼ阻害剤ソホスブビルの配合剤であるハーボニー[®]配合錠は、ゲノタイプ1型のC型慢性肝炎およびC型代償性肝硬変患者において高い治療効果を示しています³⁾。主要評価項目であるSVR12率（投与終了から12週間後のHCV RNA量が定量下限値未満の割合）は、インターフェロンの治療歴に関わらず100%でした。

C型肝炎の治療薬は、ゲノタイプ、過去の治療歴や年齢、腎機能、ウイルス変異の有無、併用薬などを総合的に勘案して決定されます¹⁾。例えば、ゲノタイプ1型のC型慢性肝炎で初回治療の場合、ハーボニー[®]配合錠、ヴィキラックス[®]配合錠、エレルサ[®]錠/グラジナ[®]錠、ジメンシー[®]配合錠が1次治療として推奨されています¹⁾。しかし、薬剤ごとの特徴もあり、ハーボニー[®]配合錠は重度の腎機能障害患者へ禁忌ですし、ジメンシー[®]配合錠は毎週の肝機能検査が必要となります（表1）。また、ゲノタイプ1型のC型慢性肝炎でNS3/4A阻害薬+インターフェロン+リバビリン非著効例では、ハーボニー[®]配合錠による治療が推奨されています¹⁾。

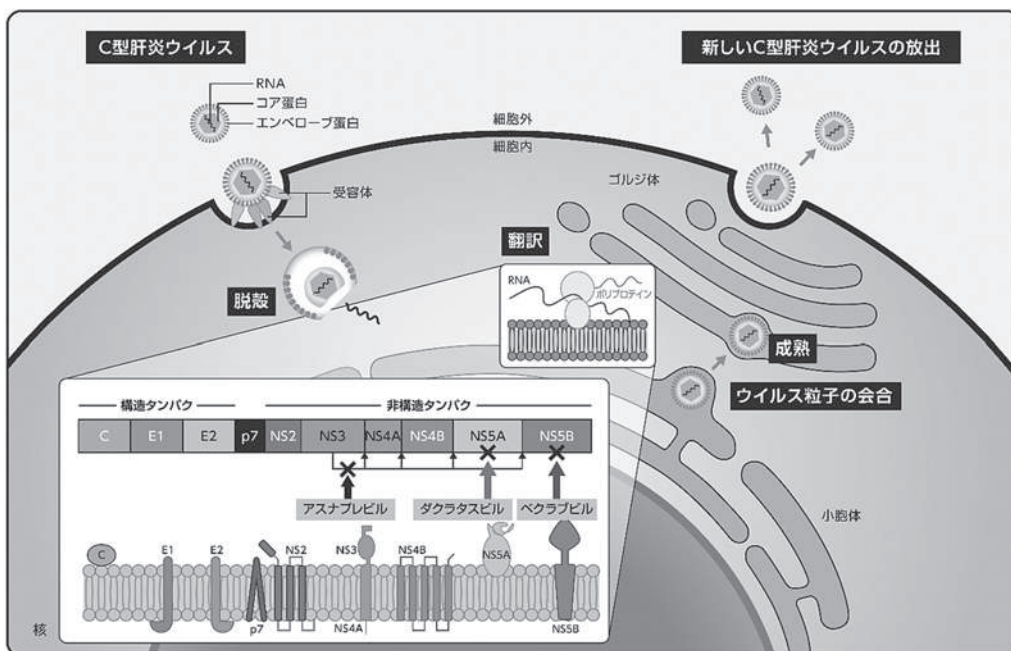


図1 DAAの作用機序²⁾を一部改変

○DAAの副作用

インターフェロンフリーのDAA併用療法では、インターフェロンの副作用（発熱・関節痛など）を回避できるため、比較的副作用が軽微です。特に注意すべき副作用は、肝機能障害などがあります。また、HCV治療中のB型肝炎ウイルス（HBV）の再活性化が報告されており、投与前のHBV感染の有無を確認するとともに、HBV共感染性例では、HBVマーカーのモニタリングが必要です⁴⁾。

○DAAの薬物相互作用

多くのDAAは吸収・代謝・排泄過程にCYPやP糖タンパク質などが関与するため、薬物相互作用に注意が必要です。

ヴィキラックス[®]配合錠は、強力なCYP阻害薬であるリトナビルを配合することで、NS3/4A阻害薬であるパリタプレビルの血中濃度を上昇させています。ヴィキラックス[®]配合錠の第Ⅲ相臨床試験の結果では、CYP3A4の基質であるカルシウム拮抗薬との併用により、低血圧や体液貯留などの副作用が報告されており、注意（アゼルニジピンは禁忌）が必要です¹⁾。

ハーボニー[®]配合錠は、プロトンポンプ阻害薬

や酸化マグネシウムなどの制酸剤によりNS5A複製複合体阻害薬であるレジパスビルの溶解性が低下して、血中濃度の低下につながるため併用注意となっています³⁾。同様に、一般用医薬品（太田胃散、パンシロンなど）にも注意が必要です。

また、海外情報になりますが「HEP Drug Interaction (<http://www.hep-druginteractions.org/>)」というサイトで、DAAの相互作用データについて調べることができます。

○DAA薬剤指導時のポイント

アドヒアランスの低下は治療効果低下につながる可能性がありますので、飲み忘れが無いよう指導しましょう。また、高薬価な医薬品になりますので、紛失等には十分に注意しましょう。

（文責 岩手医科大学附属病院
於本崇志、長澤佳昭、佐藤文彦）

- 1) C型肝炎治療ガイドライン第5.4版 2017
- 2) ジメンシー配合錠 インタビューフォーム
- 3) ハーボニー配合錠 添付文書
- 4) 医薬品・医療機器等安全性情報 No.334

表1 ゲノタイプ1型HCV慢性肝炎/代償性肝硬変に適応を有するDAAの特徴

商品名	ヴィキラックス配合錠	エレルサ錠/グラジナ錠	ジメンシー配合錠	ハーボニー配合錠
一般名 ()は略語	オムビタスビル水和物(OBV) パリタプレビル水和物(PTV) リトナビル(r)	エルバスビル (EBR) グラゾプレビル (GZR)	ダクラタスビル塩酸塩(DCV) アスナプレビル (ASV) ベクラアビル塩酸塩 (BCV)	レジパスビル (LDV) ソホスプレビル (SOF)
作機機序	NS3/4A	● (GZR)	● (ASV)	—
	NS5A	● (EBR)	● (DCV)	● (LDV)
	NS5B	—	● (BCV)	● (SOF)
1日量	1日1回 2錠 (食後)	1日1回 合計3錠	1日2回 4錠 (食後)	1日1回 1錠
服用期間	12週間			
代謝・排泄に関与する分子	CYP、P-gp (P糖タンパク質)、BCRP (乳癌耐性タンパク)、OATP (有機アニオン輸送ポリペプチド)			P-gp、BCRP
相互作用	多い			比較的少ない
胃内pH	影響なし			PPI等と併用注意
腎機能低下	使用可能	使用可能 (日本人のデータ不足)	推奨しない	eGFRが ≥ 30 mL/min/1.73m ² 未満で禁忌
注意すべき副作用	肝機能障害、体液貯留、急性腎不全、貧血 など	肝機能障害 など	肝機能障害、多型紅斑、血小板減少 など	高血圧、脳血管障害 など
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ ゲノタイプ2型への適応あり ■ リトナビルを含有し相互作用に注意必要 ■ Ca拮抗薬との併用は推奨されない ■ 中等度以上の肝機能障害 (Child-Pugh分類B or C) で禁忌 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相互作用に注意必要 ■ 中等度以上の肝機能障害 (Child-Pugh分類B or C) で禁忌 (グラジナ錠) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 相互作用に注意必要 ■ 投与中は週1回の肝機能検査が必要 ■ 中等度以上の肝機能障害 (Child-Pugh分類B or C) で禁忌 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1日1回1錠 ■ 高度の腎機能障害患者で禁忌 ■ CYPを介した相互作用なし ■ PPI等併用時は、服用タイミング注意 ■ アミオダロン併用は可能な限り避ける



構造生物薬学講座

岩手医科大学薬学部構造生物薬学講座
阪本 泰光

この度は、岩手県薬剤師会誌「イーハトーブ」の岩手医科大学薬学部講座紹介に寄稿する機会をいただき、深く感謝を申し上げます。

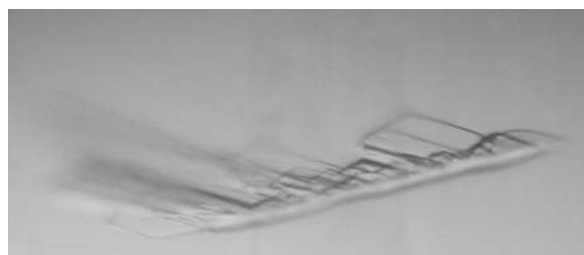
構造生物薬学講座は、薬学基礎数学、薬学実習(物理化学)、物理化学1～3、構造生物学といった物理化学に関する講義や実習を担当しています。当講座には、野中孝昌教授、阪本泰光准教授、毛塚雄一郎助教、熊谷聡子研究補助員、六本木沙織大学院生と6年生8名、5年生5名、4年生11名の29名が所属しています。

物理化学は、医薬品の物理的性質、作用機序を理解するために必須な学門である一方で、有機化学と並ぶ二大苦手科目の一つとしても知られています。毎年、春になると、講義や定期試験で物理化学に苦手意識を持っているのに、当講座に配属されてしまったものかという気持ちを押し隠すそぶりもなく、物理化学が苦手です、一番来たくない講座でしたと言いながら4年生が挨拶に訪れます。実際の研究では、数式や手計算に追われることもほとんどないと説明しますが、実験や研究を始めるまでは、疑心暗鬼のようです。このような誤解?を解くためにも、今回は、当講座で行なっている研究について紹介させていただきます。

SBDD(Structure-Based Drug Design)という、標的生体高分子の立体構造に基づいて、化合物の探索・設計・合成を行う創薬手法は、分子標的薬の開発に欠かせません。この手法では、どのような分子を標的とするかが重要であるとともに、その立体構造を正確に決定することが、その後の化合物の探索・設計・合成に大変重要です。狭い意味での分子標的薬は主に、抗がん剤として知られていますが、抗がん剤でなくとも、特定の分子を標的としたタミフルやDPP4阻害薬などの医薬品は広い意味での分子標的薬といってよく、当講座では主に病原菌の生育やその病原性に重要な働きをする分子に着目して研究を進めています。

SBDDにおける構造決定の主な手段は、核磁気共鳴法、クライオ電子顕微鏡、およびX線結晶構造解析です。現時点で、解析する分子の大きさにほぼ制限がなく、正確な構造を決定できる手法は、X線結晶構造解析しかありません。結晶構造解析では、標的分子であるタンパク質やDNAの

結晶を作ることが必要です。無機物でもないタンパク質が結晶になるということ、とても不思議に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、こんな結晶ができることもあります(写真)。



飛行機のようなタンパク質結晶

良い結晶を作るために、大腸菌での大量発現、高速液体クロマトグラフィー、SDS、Native PAGE、活性測定、カイネティクス解析、マスマスベクトル、限外濾過濃縮といった過程を経て、結晶化に適したサンプルを調製します。サンプルができたなら、結晶化を行います。多い時には1000種類以上の異なる結晶化条件を試します。そして、良い結晶が出ればしめたものですが、うまくいかない時もあります。そのような時には、国際宇宙ステーションという奥の手を使って、結晶化することもあります。

得られた結晶をつくばの高エネルギー加速器研究機構や兵庫のSpring-8で測定すると、その日のうちに立体構造を得られることもあります。綺麗な結晶に魅せられたのか、全く配属を希望していなかったのに大学院に進む学生も出てきました。物理化学が、医薬品の性質、働きの理解に必要な学門であるとともに、創薬の一端を担っていることを多くの学生に伝えられるよう奮闘してまいります。

今後ともよろしく願い申し上げます。



構造生物薬学講座4年生歓迎会(5月)



保険薬局 匿名

「チョコレートドーナツ」という映画をご存知でしょうか？

同性愛者の男性カップルが、身寄りのない子供を引き取り3人で一緒に暮らしていく物語です。それだけ見ると、一見コメディ映画かとも思いますが、引き取った少年はダウン症、同性愛に対しても少年に対しても向けられる目は厳しく、内容は社会派の映画になっています。少年の母親が薬物中毒であったり、刺激的な内容もありますが、愛情を持って過酷で不条理な状況を変えようとする姿はとても心が温まります。自分も見終わったときには、作品紹介とは全然別の印象を抱きました。

作中のダウン症の少年マルコを演じているのは、実際のダウン症の俳優アイザック・レイヴァです。だからこそ、リアルにマルコの喜びや悲しみが伝わってきてすごく心を突き動かされます。寒い冬にオススメしたい、愛情に溢れた心温まる映画です。



保険薬局 匿名

おすすめ映画というテーマですが、映画館に行くことがほとんどないため、決まって観た映画というのは金曜ロードショーで流れているものに限ります。そのなかでスタジオジブリの映画に関しては意識をして観ている気がします。

昔、父方の実家に顔を出すたびに親戚の集まりがあり、暇を持て余していた時間に祖母がよくビデオデッキで映画を流してくれました。それがスタジオジブリの作品です。「天空の城ラピュタ」「となりのトトロ」「魔女の宅急便」などラインナップが豊富であるとは言えませんでした、

コーラやポテトチップスを片手に、じっと目を離さず楽しんでいた記憶があります。今も金曜ロードショーで繰り返し流れるくらいメジャーな作品です。何回も見ているはずなのに、テレビで流れているとつい見入ってしまうくらい魅力的な作品が多いです。もしまだ観られていない方がいらっしやればぜひ一度ご覧になってみてください。



保険薬局 K・M

私のおすすめは何といっても「美女と野獣（実写版）」です。

ディズニーアニメの実写版であり、ストーリーをご存知の方もたくさんいらっしゃると思います。アニメのイメージを頭に浮かべつつ映画館へ足を運ばれたのは私だけではないと思います。

映画館に足を運ぶ前は、正直「実写版がアニメ版を超える」なんて想像すらしていなかったのですが…私の中では超えました！しかも超あっさりと…（笑）

全てにおいて細かく丁寧に描かれている映像が【とにかく繊細で美しい！】

ストーリーを解りきっているはずなのに【大号泣！！】

見終わった直後に【もう1回見たい！！】

興行収入が世界ランキング入りを果たしたとの事。世界も注目する「美女と野獣」は絶対に見る価値ありだと思います。



テーマ：おすすめの映画



山田旅の人

昭和40年代の初めに見た For Whom the Bell Tolls「誰が為に鐘は鳴る」が思い出の映画です。原作は「老人と海」等で有名なノーベル賞作家アーネスト・ヘミングウェイです。当時ヘミングウェイの小説に凝っていた大学2年の小生は、渋谷の洋画専門館で「誰が為に鐘は鳴る」を上演しているとの話を聞いて、早速見に行きました。

第二次世界大戦前のスペイン内戦を扱った映画で、主演は当時の大スターのゲーリー・クーパーとイングリット・バークマンで、二大スターの競演作でした。憧れのイングリット・バークマンを見ることができ感激しました。

当時の住まいは恵比寿でした。都バス渋谷・田町線か、山手線を使ったかは、定かではありませんが？古希を迎えた今でも主演のイングリット・バークマンの美しさと上映館は渋谷全線座で入館料は100円だった記憶が定かに残っています。



次号の「話題のひろば」のテーマは、
『2017年を振り返って』です。
ご意見は県薬事務局へFAXかEメールで。

投稿について

*ご意見の掲載に当り記銘について下記項目からお選び、原稿と一緒にお知らせください。

(1) 記銘について

- | | |
|---------|---------|
| ①フルネームで | ②イニシャルで |
| ③匿名 | ④ペンネームで |

(2) 所属について

- | | |
|--------|--------|
| ①保険薬局 | ②病院診療所 |
| ③一般販売業 | ④卸売販売業 |
| ⑤MR | ⑥行政 |
| ⑦教育・研究 | ⑧その他 |

*誌面の関係で掲載できない場合のあることをご了承ください。

パラサイト

宮古薬剤師会 清水川 大和

私は、魚のお刺身が大好きです。肉も、焼き加減は表面だけ炙ったような、中心が赤いままが大好きです。生、あるいは生に近いものを食べることに喜びを感じる人間であります。無類の生食好きです。

沿岸の宮古市に住んでいる私は、休日ともなると、魚菜市场に出かけます。刺身に向いている魚をあさり、自宅で調理開始です。ステンレストップの新しいキッチン、良く研がれた包丁、冷蔵庫で待っている純米酒。ウキウキです。1週間の疲れを癒し、また次の1週間への英気を養うビッグイベントなのです。

しかし、大きな問題が1つあります。みなさんは生ものを食べる時、寄生虫の存在を意識したことがありますでしょうか。アニサキスをご存知でしょうか。アニサキスとは、サバ、サンマ、タラ、イカなどに寄生する線状の生物です。タラの肝臓の表面などに、とぐろを巻いて鎮座ましますのをよく見かけます。大きいものは、体長5cmにもなると言われています。これを加熱しないまま食べてしまったとき、まれに人間の胃などに食いついて、痛みやアレルギーを発現する場合があります。その危険性は、かの有名な海原雄山によって、言及されることもなっております。

私とアニサキスとの出会いは7～8年ほど前。とある居酒屋でメサバを食べました。大きな切り身で、醤油につけると、その表面に脂がさーっと広がります。とてもおいしかったことを鮮明に記憶しています。その夜、嘔吐、みぞおちの辺りの断続的な痛みが始まりました。経験したことのない原因不明の強い痛みなので、とても不安です。病院で検査をすることになり、人生初の胃カメラ。そのモニターに映し出されたのは、小さな虫のような生き物。約3cmのアニサキスでした。摘出後は今までの苦しみが嘘だったかのように消えました。そんな20代の出来事でした。

さて今回、このような記事を書こうと思ったのには、きっかけがあります。実は今、キーボードを叩きながらも、断続的なみぞおちの痛みにさいなまれているということです。今現在です。再びアニサキスと合体してしまったということです。検査を受けたわけではありませんが、知っている痛みの感覚です。間違いありません。

2日前に高校時代からの友人と居酒屋へ。乾杯の生ビール、そして日本酒へというルーティーン。枝豆、焼き鳥、サンマ刺、イカの一晩干し、おしんこ。35歳になって、注文するメニューは定番化しています。楽しい気分のまま帰宅し、床につきました。日付が変わって深夜、体のかゆみで目が覚めました。腕や首がかゆい。鏡を見るとそこが赤くただれている。とりあえず、かゆみを我慢して再び就寝。夜が明けると蕁麻疹はほぼ引いていました。その代わりに、みぞおちの辺りが痛い。断続的に。この痛みはどこかで経験している。昨夜のサンマ刺が頭をよぎる。痛みを感じながらも出勤。痛みはどんどんとはっきりしていきます。痛みを感じているときは自然と、脳内で胃壁に食い込むアニサキスのイメージが展開されます。あるいは、呪いの藁人形に五寸釘を打ち付けられているかもしれないという被害妄想に襲われます。仕事を終えて夜になっても痛みは続きます。翌日(本日)もなお継続中。この粘り、しぶとさ、やはりアニサキスなのです。胃壁に喰らいついて、その生を全うしようと必死で頑張っているのです。

対処法がないかと調べました。胃カメラで摘出。そんなことはわかっています。木クレオソートを含む某有名丸薬が有効と聞きました。一筋の光明、掃き溜めに鶴です。早速購入して試してみましたが成果無し。その独特な匂いだけがむなく我が家を漂っています。結局、今回は自然に胃壁から脱落していくのを待つことになりそうです。

今回のことで、家族からは生食禁止を言い渡されておりますが無理です。生はエコであり、また、技術の結集、男のロマンなのです。これからもおいしい生食をたくさん体験していきたいと考えております。それと同時に、アニサキス症に対する簡便かつ絶対的な対処法の開発を願って止みません。独特な匂いがしないものであればなお大歓迎です。日本の技術に期待しています。

◇ ◇
次回は釜石薬剤師会の 小笠原 尚紀 先生 にお願ひしました。



職場紹介



特定医療法人 博愛会 一関病院 薬剤科 (一関薬剤師会)

特定医療法人博愛会一関病院は、平成30年1月に創立100周年を迎えます。

時代の大きな流れの中で、医療機関の果たすべき役割は常に変化していますが、当院が「地域になくてはならない病院」であることは、今後も変わることはありません。

地域医療は、多職種が協力していくことが不可欠であり、その中で薬剤科は薬剤師3名、薬剤助手6名で次の業務を担当しています。

1. 調剤 (入院調剤)
2. 処方箋監査
3. 注射個人セット
4. 化学療法管理・調製業務
5. 医薬品情報提供
6. 医薬品管理業務
7. 院内製剤業務
8. 委員会庶務

委員会では、医療安全管理、院内感染防止対策、NST・褥瘡対策、化学療法、CS及び後発医薬品使用促進等において中心的役割を担っています。

最後に、現在、薬剤師2名を募集しております。地域医療のために、あなたの力を求めています。

お気軽にお問い合わせください。



〒021-0884 一関市大手町 3-36

TEL:0191-23-2050 FAX:0191-26-4694



そうごう薬局高田店 (気仙薬剤師会)

そうごう薬局高田店は陸前高田市米崎町にあります。以前の店舗は東日本大震災の津波で流出してしまい、震災直後の米崎コミュニティーセンターでの仮設薬局を経て、現在の場所へ移ってまいりました。来年には岩手県立高田病院の高台移転に伴い、当薬局も移転する予定となっております。今は少し手狭な仮設店舗で営業しておりますが、移転先ではスペースも広くなり、皆様に更にくつろいでいただける明るい店舗を目指します。現在薬剤師4人、薬局事務3人が在籍しており親切さと丁寧さがモットーの薬局です。

私たちは皆様に薬をお渡しする事だけでなく、健康相談をはじめとした様々な相談にお応えしながら、地域の方々のお役に立てる事は何かを常に考えて業務を行っております。更に昨今、調剤薬局に求められる事が多様化しておりますが、その求めに応じるべく以下の事に力を入れております。

【そうごう薬局高田店が力を入れていること】

＜かかりつけ薬剤師＞

皆様に制度の利点を知っていただき、必要な方が利用して頂けるように積極的に啓蒙活動に取り組んでいます。

＜健康ライフサポート薬局、健康サポート薬局＞

皆様が健やかな毎日を送るため健康相談・セルフメディケーション推進なども実践しています。

＜地域連携＞

各種地域連携会議に積極的に参加し多職種の方々との連携強化、関係づくりを実践しています。

＜在宅医療＞

患者さんや医師の求めに応じて積極的に在宅訪問、個々に応じた服薬支援を実践しています。

＜残薬整理＞

残薬バックを利用し残薬整理を実践しています。

＜学校薬剤師業務＞

各種環境検査や薬物乱用防止教室を介して、地域活動も積極的に取り組んでおります。



〒029-2206 陸前高田市米崎町字野沢 17-1

TEL:0192-53-2251 FAX:0192-53-2252



会員の動き



会員の動き（平成29年9月1日～平成29年10月31日）

☆会員登録の変更について

勤務先・自宅住所・雑誌発送先・薬剤師区分等に変更があった場合は、変更報告書（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。電話等で県薬事務局に用紙を請求して下さい。

☆退会について

退会を希望される場合は、退会届（3枚複写）を提出していただくことが必要になります。県薬事務局まで連絡をお願いします。

（9月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	4	佐藤 啓太	020-0114	盛岡市高松三丁目9-10	019-681-3117	019-681-3118	東北薬大
		リリイ薬局高松店					H23
花巻	6	泉 澤 満	025-0037	花巻市太田第51地割220-1	0198-39-1250	0198-39-1251	岩手医科
		銀河薬局太田店					H24
奥州	6	本名 弘道	023-0403	奥州市胆沢区若柳字甘草324	0197-41-4110	0197-46-5150	帝京大
		ふれあい薬局					S56
一関	4	宇田川 康平	029-0302	一関市東山町長坂字町388	0191-48-4630	0191-48-4631	東薬大
		アイン薬局東山町店					H26
気仙	7	久喜 雅裕	022-0007	大船渡市赤崎町字石橋前6-5	0192-26-6070	0192-26-6080	東北薬大
		㈱バイタルネット大船渡支店					S57
宮古	4	篠 知 靖	027-0063	宮古市山口五丁目295-7	0193-65-7137	0193-65-7182	東薬大
		アイン薬局宮古山口店					H24
二戸	6	馬場 麻里絵	028-5301	二戸郡一戸町西法寺字稲荷21-1	0195-31-1800		岩手医科
		めぐみ薬局					H27

（10月 入会）

地域	業態	氏名 勤務先	〒	勤務先住所	勤務先 TEL	勤務先 FAX	出身校 卒業年度
盛岡	6	下村 尚己	020-0121	盛岡市月が丘1丁目29番7号	019-648-3939	019-648-4500	岩手医科
		月が丘薬局					H28
花巻	6	吉田 和生	028-0521	遠野市材木町2-28	0198-63-2155	0198-60-1270	岩手医科
		はやせ薬局					H26
花巻	6	高見 昌弘	025-0092	花巻市大通り1-10-28	0198-41-1778	0198-41-1777	北陸大
		広田薬品花巻駅前薬局					H24
北上	7	三浦 宏真	024-8507	北上市村崎野17-10	0197-71-1511	0197-71-1414	東北薬大
		岩手県立中部病院					H27
北上	1	南雲 雅弘	024-0004	北上市村崎野15地割354-3	0276-76-1884		
		あい薬局村崎野店					
気仙	6	千葉 廉	022-0006	大船渡市立根町字中野40-6	0192-21-5100	0192-27-2001	岩手医科
		りあす薬局					H28
宮古	6	沢口 航也	027-0074	宮古市保久田8番5号	0193-65-0122		岩手医科
		調剤薬局ツルハドラッグ宮古中央店					H28

(9月 変更)

地域	氏名	変更事項	変 更 内 容	
盛岡	佐々木 美 保	勤務先	〒020-0015 盛岡市本町通一丁目9-28 本町薬局 電話 019-652-8200 FAX 019-652-3322	
盛岡	野 村 芳奈美	勤務先	〒020-0864 盛岡市西仙北1-32-11 西仙北薬局 電話 019-634-0001	
盛岡	三 浦 真由美	勤務先及び地域	〒028-7111 八幡平市大更第21地割79-1 スマイル薬局 電話 0195-75-2871 FAX 0195-75-2873	旧地域 花巻
盛岡	内 海 梨 奈	勤務先	〒020-0015 盛岡市本町一丁目9-28 本町薬局 電話 019-652-8200	
花巻	小野寺 知 博	勤務先及び地域	〒028-3111 花巻市石鳥谷町新堀第15地割23番地 宝陽病院 電話 0198-45-6500 FAX 0198-45-6765	旧地域 奥州
花巻	高 橋 壺 治	勤務先	〒024-0072 北上市北鬼柳22-36-11 すずらん薬局 電話 0197-61-2277 FAX 0197-61-2278	
花巻	伊 藤 勝 彦	勤務先及び地域	〒025-0033 花巻市諏訪399-1 諏訪調剤薬局 電話 0198-21-3303 FAX 0198-21-3220	旧地域 北上
北上	吉 田 博 之	勤務先	〒024-0071 北上市上江釣子7-97-1 ウイル調剤薬局 電話 0197-71-5533 FAX 0197-71-5533	

(10月 変更)

地域	氏名	変更事項	変 更 内 容	
盛岡	横 道 優 子	氏名	旧姓：工藤	
盛岡	伊 藤 房 子	勤務先	〒020-0638 滝沢市土沢540-2 あおぞら薬局 電話 019-699-1319 FAX 019-699-1323	
盛岡	松 谷 英 里	勤務先及び地域	〒213-0013 川崎市高津区末永1-23-17 梶ヶ谷ビルディング アイセイ薬局	旧地域 気仙
盛岡	太 田 和 代	勤務先	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通9-10 こまち薬局 電話 019-652-7581 FAX 019-652-7582	
盛岡	高 橋 菜穂子	勤務先	〒020-0857 盛岡市北飯岡1-10-82 セルスバクト株式会社	
花巻	熊 谷 真 司	勤務先及び地域	〒025-0065 花巻市星が丘一丁目8-20 ほしがおか・花城薬局 電話 0198-23-5388 FAX 0198-23-6066	旧地域 盛岡
花巻	畠 山 彩 芳	勤務先	〒025-0065 花巻市星が丘一丁目8-20 ほしがおか・花城薬局 電話 0198-23-5388 FAX 0198-23-6066	
花巻	藤 田 太	勤務先	〒025-0065 花巻市星が丘一丁目8-20 ほしがおか・花城薬局 電話 0198-23-5388 FAX 0198-23-6066	
花巻	千 葉 久仁子	勤務先及び地域	〒025-0016 花巻市高木15-18-13 たかき薬局 電話 0198-41-1522 FAX 0198-41-1523	旧地域 北上
奥州	杉 本 良 江	勤務先及び地域	〒023-0022 奥州市水沢区中城6-3 西大通薬局 電話 0197-51-6000 FAX 0197-51-6002	旧地域 北上
一関	遠 畑 竜 一	勤務先及び地域	〒021-0053 一関市山目中野63-1 かめちゃん調剤薬局一関店 電話 0191-33-2200 FAX 0191-33-2201	旧地域 花巻
釜石	熊 谷 宏 之	勤務先及び地域	〒028-1116 上閉伊郡大槌町本町6番18号 クリス薬局 電話 0193-55-5891 FAX 0193-55-5892	旧地域 宮古
釜石	熊 谷 恵理子	勤務先及び地域	〒028-1116 上閉伊郡大槌町本町6番18号 クリス薬局 電話 0193-55-5891 FAX 0193-55-5892	旧地域 宮古
二戸	石 塚 薫	勤務先	〒028-5133 二戸郡一戸町中山字大塚118番2 かめちゃん調剤薬局 電話 0195-35-3009 FAX 0195-35-3010	

9月退会

(盛岡) 佐藤 雄希、松浦 牧雄 (花巻) 磯嶋 好市郎、中村 奈津美 (気仙) 浦辺 賢太郎
(宮古) 八重樫 裕司

10月退会

(盛岡) 末永 健、渡邊 直子、菊地 サチ子 (北上) 小田島 政行

会 員 数

	正 会 員	賛助会員	合 計
平成29年10月31日現在	1,673名	91名	1,764名
平成28年10月31日現在	1,670名	95名	1,765名

訃 報

盛岡薬剤師会 松浦 牧雄 様 平成29年9月4日ご逝去
 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



新たに指定された保険薬局

地域名	指定年月日	薬局名称	開設者名	〒	住所	TEL
花巻	H29.09.01	あい薬局花城店	南雲 雅弘	025-0075	花巻市花城町12-14	0198-21-5033
北上	H29.09.01	あい薬局村崎野店	南雲 雅弘	024-0004	北上市村崎野15-354-3	0197-71-1101
盛岡	H29.10.01	日本調剤東安庭薬局	三津原 博	020-0824	盛岡市東安庭1-23-63	019-656-1611
釜石	H29.10.30	クリス薬局	熊谷 宏之	028-1116	大槌町本町6-18	0193-55-5891
盛岡	H29.10.01	アイセイ薬局盛岡材木町店	藤井 江美	020-0063	盛岡市材木町4-33	019-681-3707
奥州	H29.10.01	アイセイ薬局江刺病院前店	藤井 江美	023-1103	奥州市江刺区西大通り4-24	0197-31-2566
盛岡	H29.11.01	あまいろ薬局	佐々木 淳	020-0861	盛岡市仙北2-1-20	019-613-7005
盛岡	H29.11.01	アイン薬局盛岡南店	大石 美也	020-0831	盛岡市三本柳6-1-1	019-601-2235
花巻	H29.11.01	小田島薬局	小田島 欣一郎	025-0087	花巻市上町6-5	0198-23-5161



求人情報



受付日	種別	就労場所	求人者名・施設名	勤務時間		休日	その他
				平日	土曜日		
29.11.17	保険薬局	盛岡市向中野3-10-10	リーフ薬局	9:00~18:00 (水8:30~12:30)	8:30~12:30	日曜、祝日、お盆、年末年始	通勤手当有り、パート可
29.11.13	保険薬局	盛岡市永井13-17-3	かつら薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日	通勤手当あり、昇給あり
29.11.13	保険薬局	滝沢市湯舟沢480	たけしげ薬局	8:30~18:30	8:30~17:00	日祝日、水曜日午後	勤務時間応相談、パート可
29.11.13	保険薬局	盛岡市津志田南2-16-31	エース薬局	9:00~18:30	8:30~13:00	木曜、土曜午後、日曜、祝日	通勤手当有り、昇給有り
29.11.13	保険薬局	盛岡市みたけ3-11-36	けい福薬局	9:00~18:30 (水9:00~13:30)	9:00~13:30	日曜、祝日、お盆、年末年始	
29.11.13	保険薬局	盛岡市みたけ3-11-36	けい福薬局	月、火、木、金 (16:00~18:00)	9:00~13:00		パート募集
29.11.13	保険薬局	一戸町西法寺字稲荷21-1	めぐみ薬局	8:30~17:30	8:30~12:30	日曜、祝日	昇給有り、退職金制度有り、パート可
29.11.13	保険薬局	奥州市江刺区川原町3-14	川原町薬局	9:00~18:00	9:00~14:00	日曜、金曜、祝日	昇給有り、退職金制度有り、パート可
29.11.13	保険薬局	花巻市円万寺字下中野45-11	ゆぐち薬局	9:00~18:00	9:00~12:30	日曜、祝日	昇給有り、退職金制度有り、パート可
29.11.13	保険薬局	盛岡市月が丘1-29-7	月が丘薬局	9:00~19:00	9:00~13:00	日曜、祝日	昇給有り、退職金制度有り、パート可
29.11.13	保険薬局	奥州市水沢区字川原小路12	水沢調剤薬局	8:45~17:45		土日祝	パート可
29.11.13	保険薬局	奥州市胆沢区若柳字甘草324	ふれあい薬局	9:00~17:30 (水9:00~21:00)		土日祝	パート可
29.11.13	保険薬局	一関市大手町7-2 一関市三関字仲田29-3 一関市銅谷町9-24	大手町薬局 三関薬局 銅谷調剤薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日曜、祝日 (週休二日制)	通勤手当有り、住宅手当有り(市外通勤)、昇給有り、退職金有り
29.11.13	保険薬局	盛岡市上田1	こずかた薬局	9:00~18:00	9:00~13:00	日祝祭日、他月2回	パート可
29.11.13	病院	一関市大手町3-36	医療法人博愛会 一関病院	8:30~17:00	8:30~12:00	日曜、祝日、年末年始、第3土曜、第5土曜(1月を除く)	通勤手当有り、昇給有り
29.11.13	保険薬局	雫石町万田渡74-19	しずくいし中央薬局	9:00~18:00	9:00~15:00	日曜、祝日、土曜は隔週	パート可、勤務時間要相談
29.11.10	保険薬局	有限会社菊屋薬局	大槌町小鎗27-3-4 シーサイドタウンマスト2F	10:00~18:00	9:00~13:00	日祝日(土曜休も可)	通気手当あり、パート可(土曜日のみも可)
29.10.6	病院	盛岡市本宮1-6-12	医療法人謙和会 萩野病院	8:00~17:00	8:00~12:00		通勤手当有り(上限20,000円)、単身用アパート有
29.10.10	保険薬局	盛岡市好摩字夏間木70-190	八角病院	8:30~17:30	8:30~12:30	4週9休、年末年始等	基本給は経験年数を考慮、昇給年1回、1か月単位の變形時間労働制、住宅手当あり、家族手当あり
29.9.13	保険薬局	一関市青葉1-6-4-101	いちご薬局	8:30~18:00	8:30~13:00	日曜、祝日、リフレッシュ、夏期、年末年始、水曜午後	昇給有り、借上げ住宅有り、通勤手当有り
29.9.13	保険薬局	滝沢市牧野林1010番地2	ドレミ薬局	9:00~18:00 (水曜9:00~13:30)	9:00~13:30	週休2日制(日、祝日、年末年始、夏期休暇)	通勤手当有り、昇給有り、退職金有り、勤務時間はシフト制、パート可
29.9.13	病院	和賀郡西和賀町沢内字大野13地割3番地12	町立西和賀さわうち病院	8:30~17:15		土曜日、日曜、祝日、年末年始	通勤手当有り、給食有り(400円/食)、昇給有り、退職金有り、住宅給付有り、公務員共済加入
29.9.13	保険薬局	盛岡市上田1-18-50	あおば薬局	9:00~18:00	9:00~14:00	年末年始、お盆、日祝日	駐車場有、アパート所有、昇給有り、退職金有り、パート可
29.9.1	保険薬局	盛岡市愛宕町2-38	あたご薬局	8:30~18:00	8:30~13:00	月8回	通勤手当有り、賞与年2回(初回年1回)、パート可
29.9.1	保険薬局	盛岡市上田1-3-10	リード薬局	9:00~18:00(もしくは10:00~19:00)	9:00~13:00	日曜、祝日(土曜日は隔週)	

■岩手県薬剤師会【薬剤師無料職業紹介所】では、求人、求職ともそれぞれ、「求人票」、「求職票」を登録のうえでのご紹介となっております。登録をご希望のかたは、直接来館または、「求人票」「求職票」を送付いたしますので県薬事務局(電話 019-622-2467)までご連絡ください。受付時間は(月-金/9時~12時、13時~17時)です。なお、登録については受付日~三ヶ月間(登録継続の連絡があった場合を除く)とします。



図書紹介



1. 「治療薬ハンドブック 2018」

発 行 じほう

判 型 B 6 変形判 1550 頁

定 価 4,752 円 (税込)

会員価格 4,280 円 (税込)

- ☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一箇所に送付する場合は無料
③ 1～9 冊までは、一律 500 円 (税込)

2. 「続 処方せん・店頭会話からの薬剤師の臨床判断」

発 行 じほう

判 型 A 5 判 344 頁

定 価 2,592 円 (税込)

会員価格 2,320 円 (税込)

- ☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一箇所に送付する場合は無料
③ 1～9 冊までは、一律 500 円 (税込)

3. 「残薬対策ハンドブック」

発 行 じほう

判 型 A 5 判 128 頁

定 価 2,592 円 (税込)

会員価格 2,320 円 (税込)

- ☆送 料 ①県薬及び地域薬剤師会に一括送付の場合無料
②個人の場合 10 冊以上を一括同一箇所に送付する場合は無料
③ 1～9 冊までは、一律 500 円 (税込)

☆図書の購入申し込みは、専用の申し込み用紙で、県薬事務局まで FAX して下さい。
専用の申し込み用紙は、県薬ホームページ会員のページからダウンロードしてご利用下さい。
県薬ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>
会員のページ ユーザー名 iwayaku
パスワード ipa2210

編集後記

今回の話題の広場のテーマは「おすすめの映画」。
 最近はなかなか時間がなく映画館にも行けてませんが、昔はよく映画館のはしごをしたものです。
 若い薬剤師の先生方は知らないかもしれませんが、以前は同時上映というのがあり一度入場すると2本は違う映画が見られました。現在と違い入れ替えもなかったので、極端な話、同じ映画を何回も見られました。
 一度だけ同じ映画を2回続けて見たことがあります。キリスト教の七つの大罪をモチーフにした連続狂気殺人事件と、その事件を追う刑事たちの姿を描いたサイコサスペンス「セブン」。
 デヴィット・フィンチャー監督、ブラッド・ピット主演の映画で見られた方も多いかもれません。
 ラスト15分間のドキドキ感、結末を知っていてもスクリーンにくぎ付けになった感覚を今でも覚えています。
 まだ見ていない方…おすすめです！ (編集委員 安倍 奨)

..... **お知らせ**

(一社) 岩手県薬剤師会ホームページ <http://www.iwayaku.or.jp/>

「会員のページ」ユーザー名 **iwayaku**
 パスワード **ipa2210**

「イーハトーブ」は、会員相互の意見や情報の交換の場です。
 会員の皆様からの投稿・意見・要望をお待ちしております。

投稿・意見・要望あて先 県薬事務局 TEL 019-622-2467 FAX 019-653-2273

e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp
 (アイ・ピー・エー・イチ・エイチ・イー・エー・ディー)

薬剤師会館休館のお知らせ

年末年始につき次の期間は岩手県薬剤師会館を閉館いたします。
 平成29年12月29日(金)から平成30年1月3日(水)まで

表紙の写真

ドライブがてら妻と何十年かぶりに紅葉狩りというものをしました。
 松川溪谷と松川玄武岩のきれいな紅葉と雄大な川の岩肌の写真です。大自然への感動と山の香りを満喫してきました。(花巻薬剤師会 KI)

編 集	担当副会長	金澤貴子
	担当理事	高林江美、川口さち子、工藤琢身、川目聖子、嶋 弘一
	編集委員	川目聖子、高野浩史、安倍 奨、佐々木拓弥
	地域薬剤師会編集委員	工藤正樹(盛岡)、伊藤勝彦(花巻)、腰山裕美(北上)、 千葉千香子(奥州)、山内信哉(一関)、金野良則(気仙)、 佐竹尚司(釜石)、内田一幸(宮古)、新渕純司(久慈)

イーハトーブ～岩手県薬剤師会誌～ 第64号

第64号(奇数月1回末日発行)	平成29年11月29日 印刷
	平成29年11月30日 発行
発行者 一般社団法人 岩手県薬剤師会	会長 畑澤博巳
発行所 一般社団法人 岩手県薬剤師会	〒020-0876 盛岡市馬場町3番12号
	TEL (019) 622-2467 FAX (019) 653-2273
	e-mail ipalhead@rose.ocn.ne.jp
印刷所 杜陵高速印刷株式会社	〒020-0811 盛岡市川目町23番2号 盛岡中央工業団地
	TEL (019) 651-2110 FAX (019) 654-1084

アフラックのがん保険

がん保険契約件数 NO.1

平成28年版「インシュアランス生命保険統計号」より

今や、日本人の**2人に1人**が一生のうちに**がん**と診断される*時代です。

*公益財団法人 がん研究振興財団「がんの統計'14」

新 生きるための
がん保険 Days

保障内容〈新 生きるためのがん保険Days(デイズ)〉
Aプラン 入院給付金日額 **5,000円** 保険期間: 終身
(抗がん剤治療特約:10年更新 がん先進医療特約:10年更新)
*三大治療とは手術・放射線治療・抗がん剤治療のことをいいます。

月払保険料 [個別取扱]

〈新 生きるためのがん保険Days(デイズ)〉
Aプラン 入院給付金日額: 5,000円
+ 〈がん先進医療特約〉 定額タイプ
解約払戻金なしタイプ 保険料払込期間: 終身
(抗がん剤治療特約・がん先進医療特約は10年更新)

契約日の満年齢	男性	女性
0歳	789円	839円
5	854	939
10	894	944
15	984	1,009
20	1,104	1,179
25	1,274	1,374
30	1,514	1,639
35	1,814	1,999
40	2,234	2,399
45	2,804	2,789
50	3,574	3,084
55	4,584	3,389
60	5,879	3,754
65	7,204	4,144

(2017年2月現在)

*〈抗がん剤治療特約〉〈がん先進医療特約〉の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

上記保険料例に記載のないご年齢の保険料については募集代理店へお問い合わせください。

◎詳しくは『契約概要』等をご覧ください。

三大治療	診断給付金	初めて「がん」「上皮内新生物」と診断確定されたとき	一時金として	がん 50万円 (1回限り) 上皮内新生物 5万円 (1回限り)	一生保障
	入院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療目的で入院したとき	1日目から日数無制限	1日につき 5,000円	
	通院給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療目的でつぎの①②いずれかの通院をしたとき ①三大治療*のための通院 ②入院後の通院(退院日の翌日から365日以内の通院)	①三大治療のための通院は日数無制限 ②退院後365日以内の通院なら日数無制限	1日につき 5,000円	
	手術治療給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療目的で所定の手術を受けたとき	一連の手術については14日間に1回回数無制限	1回につき 10万円	
	放射線治療給付金	「がん」「上皮内新生物」の治療目的で所定の放射線治療を受けたとき	60日に1回回数無制限	1回につき 10万円	
	抗がん剤治療給付金	「がん」の治療目的で所定の抗がん剤治療を受けたとき	入院しなくても	治療を受けた月ごと 5万円 (給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき 治療を受けた月ごと 2.5万円 (給付倍率1倍) 更新後の保険期間を含め 通算 300万円 まで	

がん先進医療特約	「がん」の診断や治療で所定の先進医療を受けたとき	がん先進医療給付金	給付金1回につき先進医療にかかる技術料のうち自己負担額と同額 更新後の保険期間を含め通算 2,000万円 まで	10年満期自動更新
		がん先進医療一時金	一時金として 1年間に1回 上記「がん先進医療給付金」が支払われる先進医療を受けたとき 15万円	

保障の対象となる先進医療は、厚生労働大臣が認める医療技術で、医療技術ごとに適応症(対象となる疾患・症状等)および実施する医療機関が限定されています。また、厚生労働大臣が認める医療技術・適応症・実施する医療機関は随時見直されます。

NEW/
がんを経験された方へ
生きるための
がん保険
寄りそうDays

満20歳～満85歳の方で「がん(悪性新生物)」の治療を受けた最後の日から、5年以上経過している場合にお申し込みいただけます。

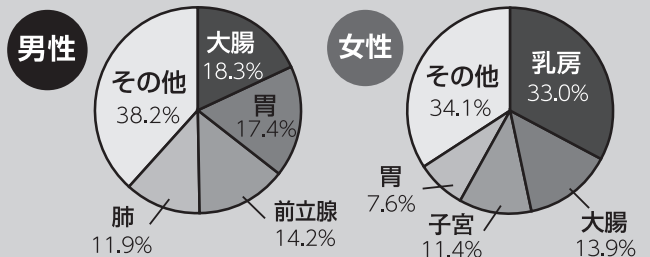
詳しくは募集代理店にお問い合わせください。

※過去5年以内に「がん(悪性新生物)」の診断・治療を受けておらず、また治療を受けるようにすすめられていない方がお申込みいただけます。
※健康状態などによっては、ご契約をお引受できない場合があります。
※この保険は、がん(悪性新生物)を経験された方のための商品のため、保険料が割増されています。

岩手県内の
がん保険契約件数 **144,212件**

アフラック保険取扱時からの累計 平成28年10月現在

岩手県の部位別がん罹患割合(20歳～69歳の罹患患者)
※上皮内がんを除く



出典:岩手県一般社団法人岩手県医師会「平成25年 岩手県地域がん登録事業報告書」

《募集代理店》 **ナカイ株式会社 盛岡支店** ナカイ 保険

〒020-0025 盛岡市大沢川原3丁目8-40 パレスこずかた橋1F
TEL:019-652-3261(代) FAX:019-652-3275

フリーダイヤル(通話料無料) **0120-523-261**
受付時間:9:00～18:00(土・日・祝除く)

《引受保険会社》
アフラック 盛岡支社
〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通2-9-1 マリオス13F
当社保険に関するお問合わせ・各種お手続き コールセンター 0120-5555-95
AF041-2017-0004 3月14日(180314)

わたしたち薬剤師はスポーツ選手の味方です！

